

ECLEF-V680D2 形

CC-Link IE Field Network 用オムロン V680 シリーズ対応

RFID インタフェースユニット

CC-Link IE Field Network システム接続用 FB リファレンスマニュアル

三菱電機エンジニアリング株式会社

ECLEF-V680D2 形 CC-Link IE Field Network 用オムロン V680 シリーズ対応 RFID インタフェースユニット
 —CC-Link IE Field Network システム接続用 FB リファレンスマニュアル

《目次》

リファレンスマニュアルの改定履歴.....	3
1. 概 要	4
1. 1 FB ライブラリ概要.....	4
1. 2 FB ライブラリ機能内容.....	4
1. 3 システム構成例.....	5
1. 4 CC-Link IE Field Network システムマスタ局のネットワークパラメータ設定	6
1. 4. 1 ユニットパラメータ設定.....	6
1. 4. 2 ネットワーク構成設定	7
1. 4. 3 リンクリフレッシュ設定	8
1. 5 グローバルラベル設定.....	9
1. 6 インタロックプログラムの作成.....	11
1. 7 間接アドレス指定.....	12
1. 8 関連マニュアル.....	12
1. 9 お願い.....	12
2. FB ライブラリ詳細.....	13
2. 1 P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet_R (イニシャルデータ設定).....	13
2. 2 P+MEE-ECLEF-V680D2_Read_R (ID タグのリード)	21
2. 3 P+MEE-ECLEF-V680D2_Write_R (ID タグのライト).....	28
2. 4 P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill_R (ID タグのデータフィル).....	35
2. 5 P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead_R (ID タグの UID リード).....	41
2. 6 P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureNoise_R (ノイズ測定).....	47
2. 7 P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead_R (イニシャルデータリード).....	53
2. 8 P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead_R (ユニット状態読出し).....	59
2. 9 P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy_R (ID タグ間のコピー).....	64
付録 1. 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法.....	70
付録 1 . 1 ネットワークパラメータの設定	71
付録 1 . 2 グローバルラベルの設定	75
付録 1 . 3 2 枚目用 FB を作成するための MELSOFT Library をコピー.....	77
付録 1 . 4 2 枚目用 FB を作成するためのデバイス置換.....	78
付録 2. FB ライブラリ使用例	79

リファレンスマニュアルの改定履歴

リファレンスマニュアル番号	改定日	改定内容
50CM-D180204-A	2015/12/01	新規作成

1. 概 要

1. 1 FB ライブラリ概要

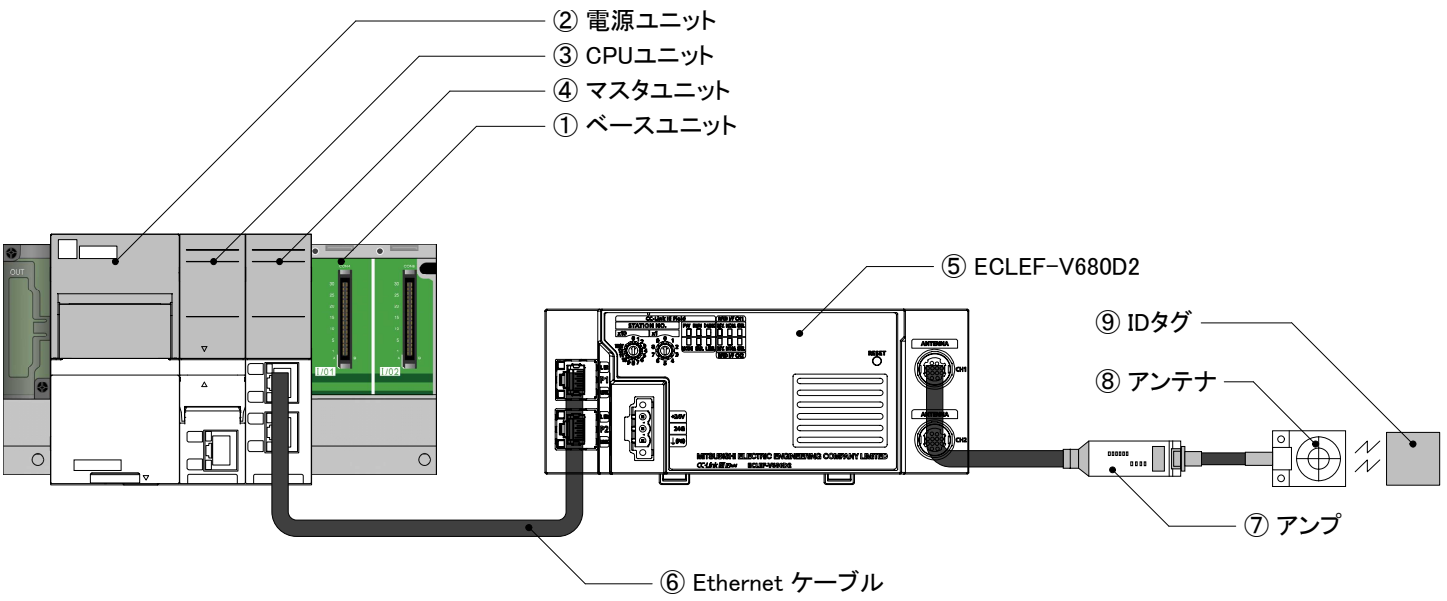
本 FB ライブラリは、MELSEC CC-Link IE Field Network システムを利用して、CC-Link IE Field Network 用オムロン V680 シリーズ対応 RFID インタフェースユニット ECLEF-V680D2 を使用するシステムの FB ライブラリです。

1. 2 FB ライブラリ機能内容

No.	FB 名称 (※1)	内 容
1	P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet_R	Sets the initial data when a command is executed. ユニットのイニシャルデータを設定します。(※2) ※2 電源投入後またはリセット解除後、必ず最初に実行してください。
2	P+MEE-ECLEF-V680D2_Read_R	Reads the data of an ID tag. ID タグからデータを読み出します。
3	P+MEE-ECLEF-V680D2_Write_R	Writes data to an ID tag. ID タグへデータを書込みます。
4	P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill_R	Initializes the data of an ID tag using specified data. 指定したデータで ID タグを初期化します。
5	P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead_R	Reads the UID (unit identification number) of the ID tag. ID タグの UID(個別識別番号)を読み出します。
6	P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureNoise_R	Measures the noise environment surrounding the antenna. アンテナ周囲のノイズ環境を測定します。
7	P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead_R	Reads the initial data settings. イニシャルデータを読み出します。
8	P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead_R	Read module status. ユニット状態を読み出します。
9	P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy_R	Copies data of an ID tag between channel 1 and channel 2. チャンネル 1 とチャンネル 2 の間で ID タグのデータをコピーします。

※1: FB 名称のバージョン表記を省略しています。

1.3 システム構成例



No.	機 器 名	説 明	
①	シーケンサ	ベースユニット MELSEC iQ-R	
②		電源ユニット R61P	
③		CPU ユニット	
		シリーズ	モデル
	MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU	
④	マスタ・ローカルユニット	CC-Link IE Field Network システムマスタ・ローカルユニット RJ71GF11-T2	
⑤	ECLEF-V680D2	CC-Link IE Field Network 用 オムロン V680 シリーズ対応 RFID インタフェースユニット	
⑥	ケーブル	Ethernet ケーブル	
⑦	RFID アンプ	オムロン V680 シリーズアンプ	
⑧	RFID アンテナ	オムロン V680 シリーズアンテナ	
⑨	ID タグ	オムロン V680 シリーズ ID タグ	

1. 4 CC-Link IE Field Network システムマスタ局のネットワークパラメータ設定

1.3 項「システム構成例」に基づくマスタ局のネットワークパラメータ設定の内容を説明します。GX Works3 を用いて、以下の項目を設定します。

1. 4. 1 ユニットパラメータ設定

以下のように設定します。

項目	内容
局種別	「マスタ局」を設定します。
ネットワーク No.	1
局番設定方法	「パラメータで設定」を設定します。
基本設定/応用設定の設定方法	「パラメータで設定」を設定します。

0000:RJ71GF11-T2 ユニットパラメータ

設定項目一覧

検索する設定項目をここに入力

必須設定
局種別設定
ネットワークNo設定
局番設定
パラメータ設定方法
基本設定
応用設定

設定項目

項目	設定
局種別設定	
局種別	マスタ局
ネットワークNo設定	
ネットワークNo.	1
局番設定	
局番設定方法	パラメータで設定
局番	0
パラメータ設定方法	
基本設定/応用設定の設定方法	パラメータで設定

説明

局種別を設定します。

項目一覧 検索結果

チェック(K) デフォルトに戻す(U) 適用(A)

1. 4. 2 ネットワーク構成設定

以下のように設定します。

項目	内容
局種別	「インテリジェントデバイス局」を設定します。
RX/RV 設定	先頭: 0000 最終: 001F
RWw/RW _r 設定	先頭: 0000 最終: 03FF

CC IE Field構成(先頭I/O: 0000)

CC IE Field構成(I) 編集(E) 表示(V) 設定を破棄して閉じる(N) 設定を反映して閉じる(R)

接続機器の自動検出

モード設定(M): オンライン(標準モード) 割付方法(A): 先頭/最終 リンクスキャンタイム(概算値): 1.01 ms

台数	形名	局番	局種別	RX/RV設定			RWw/RW _r 設定			予約/エラー無効局
				点数	先頭	最終	点数	先頭	最終	
0	自局	0	マスタ局							
1	汎用インテリジェントデバイス局	1	インテリジェントデバイス局	32	0000	001F	1024	0000	03FF 設定なし	

局番1

自局

局番0 マスタ局
総局数1
ライン/スター

ID

汎用インテリ
ジェントデバ
イス局

ユニット一覧

CC IE Field選択 ユニット検索 お気に入り

汎用CC IE Fieldユニット

CC IE Field機器(三菱電機)

マスタ・ローカルユニット

ヘッドユニット

サーボアンプ(MR-J4シリーズ)

基本ディジタル入力ユニット

基本ディジタル出力ユニット

基本ディジタル入出力混合ユニット

基本アナログ入力ユニット

基本アナログ出力ユニット

基本温度調節ユニット

基本高速カウンタユニット

増設ディジタル入力ユニット

増設ディジタル出力ユニット

増設アナログ入力ユニット

増設アナログ出力ユニット

GOT2000シリーズ

GOT1000シリーズ

ブリッジユニット(CC-Link IE Field-An

CC IE Field機器(三菱電機エンジニアリ

CC-Link IE フィールドネットワーク対応

出力

1. 4. 3 リンクリフレッシュ設定

以下のように設定します。

項目	内容	
	リンク側	CPU 側
特殊リレー(SB) リフレッシュデバイス	デバイス名: SB 先頭: 00000 最終: 001FF	リフレッシュ先: 指定デバイス デバイス名: SB 先頭: 00000
特殊レジスタ(SW) リフレッシュデバイス	デバイス名: SW 先頭: 00000 最終: 001FF	リフレッシュ先: 指定デバイス デバイス名: SW 先頭: 00000
リモート入力(RX) リフレッシュデバイス	デバイス名: RX 先頭: 00000 最終: 007FF	リフレッシュ先: 指定デバイス デバイス名: X 先頭: 01000
リモート出力(RY) リフレッシュデバイス	デバイス名: RY 先頭: 00000 最終: 007FF	リフレッシュ先: 指定デバイス デバイス名: Y 先頭: 01000
リモートレジスタ(RW _r) リフレッシュデバイス	デバイス名: RW _r 先頭: 00000 最終: 004FF	リフレッシュ先: 指定デバイス デバイス名: W 先頭: 00100
リモートレジスタ(RW _w) リフレッシュデバイス	デバイス名: RW _w 先頭: 00000 最終: 004FF	リフレッシュ先: 指定デバイス デバイス名: W 先頭: 00600

iQ-R シリーズシーケンサのリンクリフレッシュ設定

0000-RJ71GF11-T2 ユニットパラメータ

設定項目一覧

設定項目

No.	リンク側					CPU側			
	デバイス名	点数	先頭	最終		リフレッシュ先	デバイス名	点数	先頭
-	SB	512	00000	001FF	指定デバイス	SB	512	00000	001FF
-	SW	512	00000	001FF	指定デバイス	SW	512	00000	001FF
1	RX	2048	00000	007FF	指定デバイス	X	2048	01000	017FF
2	RY	2048	00000	007FF	指定デバイス	Y	2048	01000	017FF
3	RW _r	1280	00000	004FF	指定デバイス	W	1280	00100	005FF
4	RW _w	1280	00000	004FF	指定デバイス	W	1280	00600	00AFF
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									

説明

リフレッシュ範囲の最終のCPUデバイスのデバイスNoが表示されます。

項目一覧 検索結果

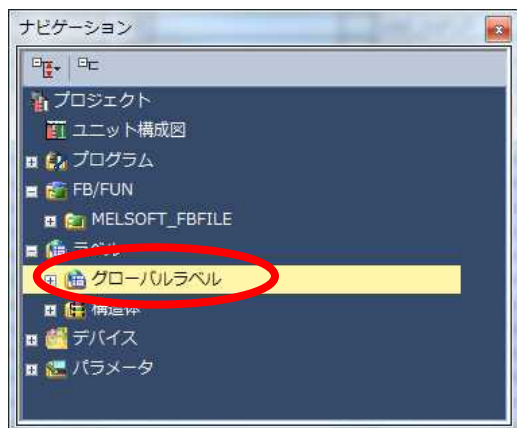
チェック(K) デフォルトに戻す(D)

適用(A)

1.5 グローバルラベル設定

本 FB を使用する際は、以下のグローバルラベルの設定が必要です。グローバルラベルの設定を説明します。

ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある「グローバルラベル」を選択します。



G_RX リモート入力(RX)の設定を行います。

項目	内容
ラベル名	「G_RX」を入力します。
データ型	「ビット」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
割付(デバイス/ラベル)	1.4.1 項にて入力したリモート出力(RX)に「Z9」を付加して入力します。 「X1000Z9」を入力します。

G_RY リモート出力(RY)の設定を行います。

項目	内容
ラベル名	「G_RY」を入力します。
データ型	「ビット」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
割付(デバイス/ラベル)	1.4.1 項にて入力したリモート出力(RY)に「Z9」を付加して入力します。 「Y1000Z9」を入力します。

G_RWr リモートレジスタ(RWr)の設定を行います。

項目	内容
ラベル名	「G_RWr」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
割付(デバイス/ラベル)	1.4.1 項にて入力したリモート出力(RWr)に「Z8」を付加して入力します。 「W100Z8」を入力します。

G_RWw リモートレジスタ(RWw)の設定を行います。

項目	内容
ラベル名	「G_RWw」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
割付(デバイス/ラベル)	1.4.1 項にて入力したリモート出力(RWw)に「Z8」を付加して入力します。 「W600Z8」を入力します。

iQ-R シリーズシーケンサのグローバルラベル設定

M+Global [グローバルラベル設定]

<フィルタ> 簡易表示(Y) << 表示設定(S) チェック(K) 警告)本ファイルは、システムファイルです。編集しないでください

	ラベル名	データ型	...	クラス	割付け(デバイス/ラベル)	初期値	定数	コメント	外部機器からのアクセス
1	RCPU	M+RCPU	...	VAR_GLOBAL	詳細設定				<input type="checkbox"/>
2	G_RX	ビット	...	VAR_GLOBAL	X1000Z9			リモート入力参照用設定	<input type="checkbox"/>
3	G_RY	ビット	...	VAR_GLOBAL	Y1000Z9			リモート出力更新用設定	<input type="checkbox"/>
+ 4	G_RWw	ワード[符号付き]	...	VAR_GLOBAL	W100Z8			リモートレジスタ参照用設	<input type="checkbox"/>
+ 5	G_RWw	ワード[符号付き]	...	VAR_GLOBAL	W600Z8			リモートレジスタ更新用設	<input type="checkbox"/>
6			...						<input type="checkbox"/>

拡張表示 : 自動



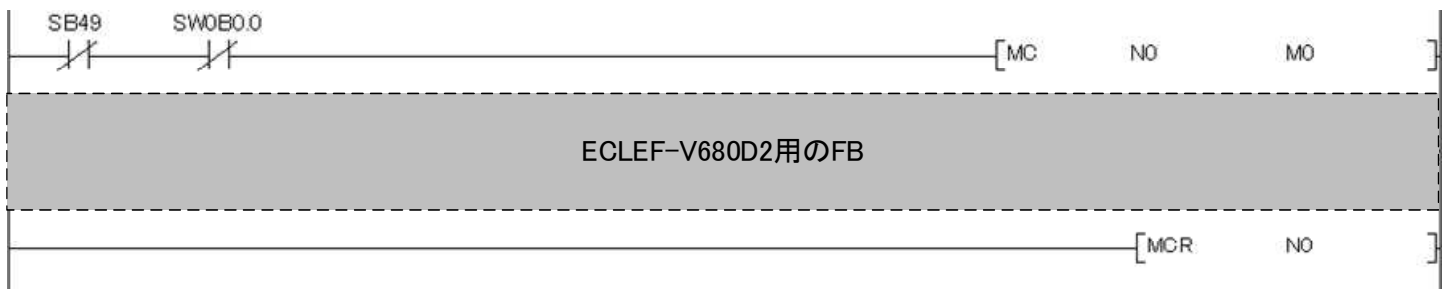
1. 6 インタロックプログラムの作成

本 FB を使用する際は、インタロックプログラムの作成が必要です。以下にインタロックプログラムの例を示します。
(MC 命令と MCR 命令の間に該当する FB を設定してください。)

インタロックプログラムでは、下記のリンク特殊リレー(SB)およびリンク特殊レジスタ(SW)でインタロックをとってください。

- ・ CC-Link IE フィールドネットワーク側の自局のデータリンク状態 (SB0049)
- ・ CC-Link IE フィールドネットワーク側の各局のデータリンク状態 (SW00B0～SW00B7)

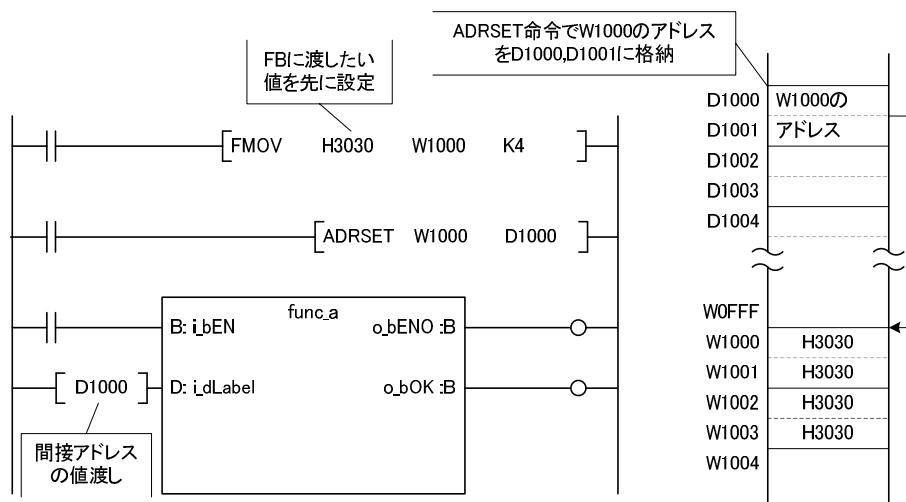
例 インタロック例 (CC-Link IE Field Network 局番 1)



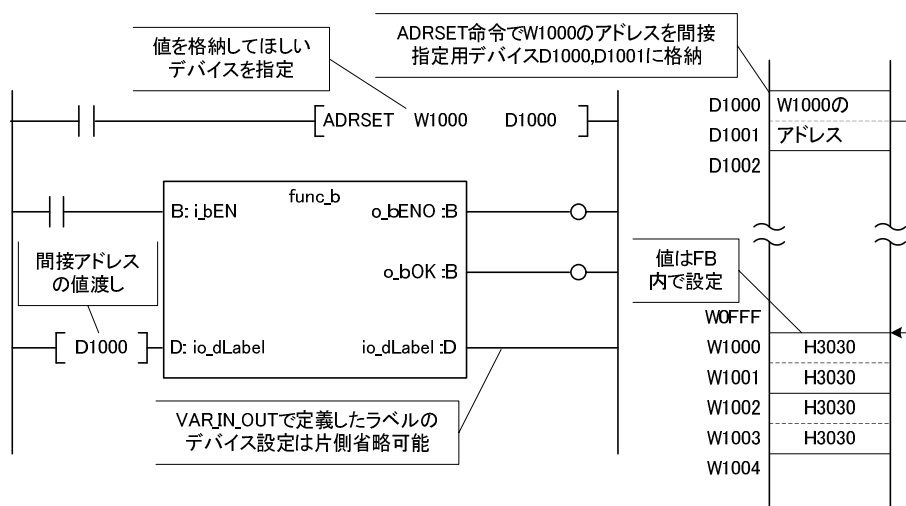
1.7 間接アドレス指定

本 FB ライブラリでは、FB の入力に間接アドレスを指定する箇所があります。以下に間接アドレスの使用例を示します。

(1) FB に値(配列)を渡したい場合



(2) FB から値(配列)をもらいたい場合



1.8 関連マニュアル

- ・ ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188)
- ・ MELSEC iQ-R Ethernet/CC-Link IE ユーザーズマニュアル (スタートアップ編) (SH-081252)
- ・ MELSEC iQ-R CC-Link IE フィールドネットワークユーザーズマニュアル (応用編) (SH-081255)

1.9 お願い

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. FB ライブラリ詳細

2. 1 P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet_R (イニシャルデータ設定)

名称

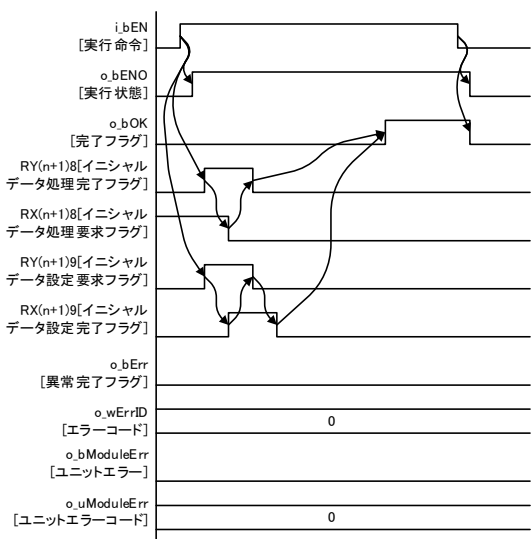
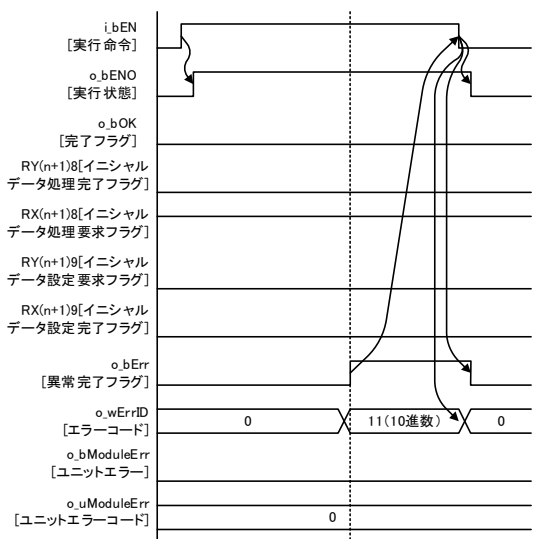
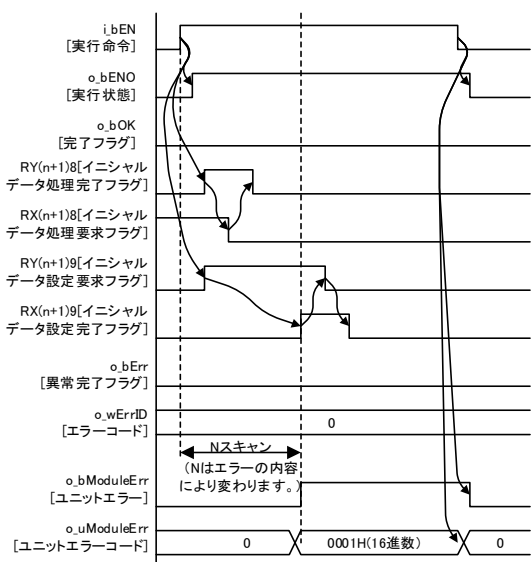
P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet_R

機能内容

項目	内容																																																			
機能概要	ユニットのイニシャルデータを設定します。 イニシャル処理実行時またはイニシャルデータ変更時に実行してください。 ※ 電源投入後またはリセット解除後、必ず最初に実行してください。																																																			
シンボル	<table><tr><td colspan="4">P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet_R</td></tr><tr><td>実行命令</td><td>B : i_bEN</td><td>o_bENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭/O No.</td><td>W : i_wStartIONo</td><td>o_bOK : B</td><td>完了フラグ</td></tr><tr><td>CC-Link IE Field Network 局番</td><td>W : i_wStationNo</td><td>o_bErr : B</td><td>異常完了フラグ</td></tr><tr><td>交信指定(CH1)</td><td>W : i_wCH1Communication</td><td>o_wErrID : W</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td>交信設定(CH1)</td><td>W : i_wCH1CommSetting</td><td>o_bModuleErr : B</td><td>ユニットエラー</td></tr><tr><td>処理指定(CH1)</td><td>W : i_wCH1ProcessingNo</td><td>o_uModuleErr : UW</td><td>ユニットエラーコード</td></tr><tr><td>オート系コマンド 待ち時間設定(CH1)</td><td>W : i_wCH1Wait</td><td></td><td></td></tr><tr><td>交信指定(CH2)</td><td>W : i_wCH2Communication</td><td></td><td></td></tr><tr><td>交信設定(CH2)</td><td>W : i_wCH2CommSetting</td><td></td><td></td></tr><tr><td>処理指定(CH2)</td><td>W : i_wCH2ProcessingNo</td><td></td><td></td></tr><tr><td>オート系コマンド 待ち時間設定(CH2)</td><td>W : i_wCH2Wait</td><td></td><td></td></tr></table>				P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet_R				実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態	先頭/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network 局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了フラグ	交信指定(CH1)	W : i_wCH1Communication	o_wErrID : W	エラーコード	交信設定(CH1)	W : i_wCH1CommSetting	o_bModuleErr : B	ユニットエラー	処理指定(CH1)	W : i_wCH1ProcessingNo	o_uModuleErr : UW	ユニットエラーコード	オート系コマンド 待ち時間設定(CH1)	W : i_wCH1Wait			交信指定(CH2)	W : i_wCH2Communication			交信設定(CH2)	W : i_wCH2CommSetting			処理指定(CH2)	W : i_wCH2ProcessingNo			オート系コマンド 待ち時間設定(CH2)	W : i_wCH2Wait		
P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet_R																																																				
実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態																																																	
先頭/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ																																																	
CC-Link IE Field Network 局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了フラグ																																																	
交信指定(CH1)	W : i_wCH1Communication	o_wErrID : W	エラーコード																																																	
交信設定(CH1)	W : i_wCH1CommSetting	o_bModuleErr : B	ユニットエラー																																																	
処理指定(CH1)	W : i_wCH1ProcessingNo	o_uModuleErr : UW	ユニットエラーコード																																																	
オート系コマンド 待ち時間設定(CH1)	W : i_wCH1Wait																																																			
交信指定(CH2)	W : i_wCH2Communication																																																			
交信設定(CH2)	W : i_wCH2CommSetting																																																			
処理指定(CH2)	W : i_wCH2ProcessingNo																																																			
オート系コマンド 待ち時間設定(CH2)	W : i_wCH2Wait																																																			
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																																																		
	対象 CC-Link IE Field Network システム	シリーズ	モデル																																																	
		MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2																																																	
	対象 CPU	シリーズ	モデル																																																	
MELSEC iQ-R シリーズ		R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU																																																		
対象機器	GX Works3	シリーズ	モデル																																																	
		MELSEC iQ-R シリーズ	Version1.015R 以降																																																	
記述言語	ラダー																																																			

項目	内容
ステップ数	622Step(MELSEC iQ-R シリーズの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、入出力定義によって異なります。
機能説明	<p>①i_bEN(実行命令)の ON で、設定した各種イニシャルデータを ECLEF-V680D2 に書込みます。 書込みが完了すると o_bOK(完了フラグ)が ON します。</p> <div><p>開始</p><p>i_bENをONにする。</p><div><p>CC-Link IE Field Network 局番 範囲チェック</p><p>範囲外</p><p>1～120</p><p>ECLEF-V680D2の 状態チェック</p><p>ID-BUSY信号ON</p><p>ID-BUSY信号OFF</p><p>ECLEF-V680D2の エラーチェック</p><p>エラー検出信号ON</p><p>ID命令完了信号ON</p><p>指定されたイニシャルデータを書込む。</p><p>o_uModuleErrにユニット エラーコードをセットする。</p><p>o_wErrIDにエラーコードを セットする。</p><p>o_bOKがONする。</p><p>o_bModuleErrがONする。</p><p>o_bErrがONする。</p></div><p>i_bENをOFFにする。</p><p>終了</p></div> <p>②エラーの場合は、o_bErr(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、o_wErrID にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>③ECLEF-V680D2 がエラーとなった場合は、o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON し、処理を中断 します。また、o_uModuleErr(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型

項目	内容
制約事項・注意事項等	<p>① 電源投入後またはリセット解除後、必ず最初に実行してください。</p> <p>② 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>③ CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>④ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>⑤ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑥ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑦ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、i_bEN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑧ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5～Z9 を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑨ i_bEN(実行命令)ON 中は、以下の値を変更しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ i_wStartIONo (先頭 I/O No.) ・ i_wStationNo (CC-Link IE Field Network 局番) ・ i_wCH1Communication, i_wCH2Communication (通信指定) ・ i_wCH1CommSetting, i_wCH2CommSetting (通信設定) ・ i_wCH1ProcessingNo, i_wCH2ProcessingNo (処理指定) ・ i_wCH1Wait, i_wCH2Wait (オート系コマンド待ち時間設定) <p>⑩ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑪ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には「付録 1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑫ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStartIONo(先頭 I/O No.)が間違っていないか、または i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または RFID インタフェースユニットのリモート出力(RY)を ON していないか確認してください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)

項目	内容	
入出力信号の動き	【正常終了の場合】 	【異常終了の場合】 
	【ユニットエラーの場合】 	n: 局番設定により、マスタユニットに割付けられたアドレス
	ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188) MELSEC iQ-R Ethernet/CC-Link IE ユーザーズマニュアル (スタートアップ編) (SH-081252) MELSEC iQ-R CC-Link IE フィールドネットワークユーザーズマニュアル (応用編) (SH-081255)	

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10 進数)	i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1～120 を指定してください。
14(10 進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

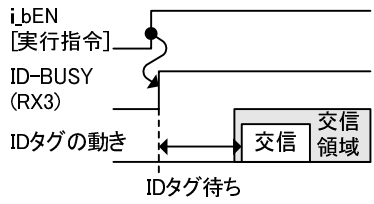
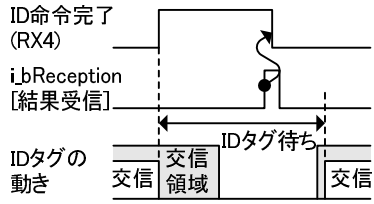
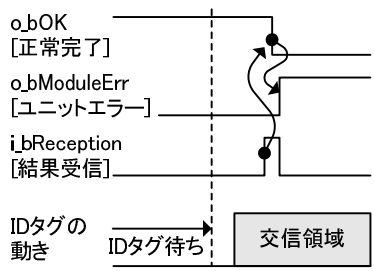
使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
先頭 I/O No.	i_wStartIONo	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアルを参照してください。	対象の CC-Link IE Field Network システムマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。(例えば先頭 I/O No.が 00A0 の場合、H0A0 を指定してください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_wStationNo	ワード	1～120(10 進数)	接続する ECLEF-V680D2 の局番を指定します。
交信指定	i_wCH1Communication (CH1) i_wCH2Communication (CH2)	ワード	0:トリガ 1:オート 2:リピートオート 3:FIFOトリガ 4:FIFOリピート	ID タグに対する交信方法を指定します。



名称	変数名	データ型	有効範囲	説明										
交信設定	i_wCH1CommSetting (CH1) i_wCH2CommSetting (CH2)	ワード	0000～000F (16 進数)	ID タグに対する交信設定を選択します。 <table><tr><th>ビット</th><th>内容</th></tr><tr><td>0</td><td>ライトベリファイ設定 0:実行する 1:実行しない</td></tr><tr><td>1</td><td>ID タグ交信速度設定 0:標準モード 1:高速モード</td></tr><tr><td>2</td><td>ライトプロテクト設定 0:有効 1:無効</td></tr><tr><td>3</td><td>リード／ライトデータコード設定 0:ASCII/HEX 変換なし 1:ASCII/HEX 変換あり</td></tr></table>	ビット	内容	0	ライトベリファイ設定 0:実行する 1:実行しない	1	ID タグ交信速度設定 0:標準モード 1:高速モード	2	ライトプロテクト設定 0:有効 1:無効	3	リード／ライトデータコード設定 0:ASCII/HEX 変換なし 1:ASCII/HEX 変換あり
ビット	内容													
0	ライトベリファイ設定 0:実行する 1:実行しない													
1	ID タグ交信速度設定 0:標準モード 1:高速モード													
2	ライトプロテクト設定 0:有効 1:無効													
3	リード／ライトデータコード設定 0:ASCII/HEX 変換なし 1:ASCII/HEX 変換あり													
処理指定	i_wCH1ProcessingNo (CH1) i_wCH2ProcessingNo (CH2)	ワード	0,1	ID タグに対するデータ格納順を指定します。 <table><tr><th>コマンド</th><th>処理指定</th></tr><tr><td>リード</td><td>データ格納順</td></tr><tr><td>ライト</td><td>0:上位→下位</td></tr><tr><td>データフィル</td><td>1:下位→上位</td></tr></table> 詳細は、各コマンドの機能説明を参照してください。 上記コマンド以外は、処理指定を使用しません。	コマンド	処理指定	リード	データ格納順	ライト	0:上位→下位	データフィル	1:下位→上位		
コマンド	処理指定													
リード	データ格納順													
ライト	0:上位→下位													
データフィル	1:下位→上位													

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
オート系コマンド 待ち時間設定	i_wCH1Wait i_wCH2Wait	(CH1) (CH2)	ワード 1～9999, 0 (10 進数)	<p>i_wCH1Communication , または i_wCH2Communication (交信指定) がオート系コマンド (オート、リピートオート、FIFO リピート) の場合に、ID タグの検出待ち時間を 0.1 秒単位で指定します。 (例えば 30 秒の場合、K300 を指定してください。)</p> <p>0 または有効範囲外の値を指定した場合は ID タグからの応答があるまで検出待ちをします。</p> <p>各 FB でコマンドを実行するときの待ち時間を下図に示します。</p> <p>【オート、リピートオート、FIFO リピートの場合】</p>  <p>【リピートオート、FIFO リピートの場合】</p>  <p>i_bReception (結果受信) ON 前に設定した待ち時間が経過したときは、i_bReception (結果受信) ON 後に o_bModuleErr (ユニットエラー) が ON します。</p> 

■出力ラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	o_bOK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	o_bErr	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	o_wErrID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON: イニシャルデータ設定値エラー。 OFF: 正常。
ユニットエラーコード	o_uModuleErr	ワード [符号なし]	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を 格納します。

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2015/12/01	新規作成

お願い

本章は FB の機能について記載しております。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 2 P+MEE-ECLEF-V680D2_Read_R (ID タグのリード)

名称

P+MEE-ECLEF-V680D2_Read_R

機能内容

項目	内容																																							
機能概要	ID タグからデータを読み出します。																																							
シンボル	<table><tr><td colspan="4">P+MEE-ECLEF-V680D2_Read_R</td></tr><tr><td>実行命令</td><td>B : i_bEN</td><td>o_bENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭I/O No.</td><td>W : i_wStartIONo</td><td>o_bOK : B</td><td>完了フラグ</td></tr><tr><td>CC-Link IE Field Network局番</td><td>W : i_wStationNo</td><td>o_bErr : B</td><td>異常完了フラグ</td></tr><tr><td>チャンネル番号</td><td>W : i_wCH</td><td>o_wErrID : W</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td>先頭アドレス指定</td><td>W : i_wAddressNo</td><td>o_bModuleErr : B</td><td>ユニットエラー</td></tr><tr><td>処理点数指定</td><td>W : i_wReadByte</td><td>o_uModuleErr : UW</td><td>ユニットエラーコード</td></tr><tr><td>結果受信</td><td>B : i_bReception</td><td>io_dReadData : D</td><td>読み出しデータ (間接アドレス指定)</td></tr><tr><td>読み出しデータ (間接アドレス指定)</td><td>D : io_dReadData</td><td>o_bIDComEnd : B</td><td>ID通信完了</td></tr></table>				P+MEE-ECLEF-V680D2_Read_R				実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態	先頭I/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了フラグ	チャンネル番号	W : i_wCH	o_wErrID : W	エラーコード	先頭アドレス指定	W : i_wAddressNo	o_bModuleErr : B	ユニットエラー	処理点数指定	W : i_wReadByte	o_uModuleErr : UW	ユニットエラーコード	結果受信	B : i_bReception	io_dReadData : D	読み出しデータ (間接アドレス指定)	読み出しデータ (間接アドレス指定)	D : io_dReadData	o_bIDComEnd : B	ID通信完了
	P+MEE-ECLEF-V680D2_Read_R																																							
	実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態																																				
	先頭I/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ																																				
	CC-Link IE Field Network局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了フラグ																																				
	チャンネル番号	W : i_wCH	o_wErrID : W	エラーコード																																				
	先頭アドレス指定	W : i_wAddressNo	o_bModuleErr : B	ユニットエラー																																				
	処理点数指定	W : i_wReadByte	o_uModuleErr : UW	ユニットエラーコード																																				
	結果受信	B : i_bReception	io_dReadData : D	読み出しデータ (間接アドレス指定)																																				
読み出しデータ (間接アドレス指定)	D : io_dReadData	o_bIDComEnd : B	ID通信完了																																					
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																																						
	対象 CC-Link IE Field Network システム	シリーズ	モデル																																					
		MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2																																					
	対象 CPU	シリーズ	モデル																																					
MELSEC iQ-R シリーズ		R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU																																						
対象機器	GX Works3	シリーズ	モデル																																					
		MELSEC iQ-R シリーズ	Version1.015R 以降																																					
記述言語	ラダー																																							
ステップ数	986Step(MELSEC iQ-R シリーズの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、入出力定義によって異なります。																																							

項目	内容																														
機能説明	<p>①i_bEN(実行命令)の ON で、ID タグの i_wAddressNo(先頭アドレス指定)から i_wReadByte(処理点数指定)で指定したバイト数のデータを読み出します。読み出したデータは、io_dReadData(読み出しデータ間接アドレス)で指定した先頭デバイスから格納されます。</p> <p>読み出しが完了すると o_bOK(完了フラグ)が ON します。</p> <div><div>開始</div><div>i_bENをONにする。</div><div><div>FB内部処理</div><div><div>CC-Link IE Field Network 局番範囲チェック</div><div>範囲外</div><div>1～120</div><div>チャンネル番号範囲チェック</div><div>範囲外</div><div>1または2</div><div>ECLEF-V680D2の状態チェック</div><div>ID-BUSY信号ON</div><div>ID-BUSY信号OFF</div><div>IDタグからデータを読み出す。</div><div>ECLEF-V680D2のエラーチェック</div><div>エラー検出信号ON</div><div>ID命令完了信号ON</div><div>io_dReadDataで間接アドレス指定したデバイスに読み出したデータをセットする。</div><div>o_uModuleErrにユニットエラーコードをセットする。</div><div>o_wErrIDにエラーコードをセットする。</div><div>o_bOKがONする。</div><div>o_bModuleErrがONする。</div><div>o_bErrorがONする。</div></div></div><div>i_bENをOFFにする。</div><div>終了</div></div> <p>②P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(インisialデータ設定)で指定した処理指定が 0 のときは上位→下位、1 のときは下位→上位のデータ格納順になります。</p> <p>(例)</p> <div><div>0: 上位→下位</div><div>1: 下位→上位</div></div> <table><tr><th>ID タグの アドレス</th><th>メモリ</th><th>CPU ユニットの デバイス</th><th>ID タグの アドレス</th><th>メモリ</th><th>CPU ユニットの デバイス</th></tr><tr><td>0010</td><td>Data1</td><td>Data1 : Data2</td><td>0010</td><td>Data1</td><td>Data2 : Data1</td></tr><tr><td>0011</td><td>Data2</td><td>Data3 : Data4</td><td>0011</td><td>Data2</td><td>Data4 : Data3</td></tr><tr><td>0012</td><td>Data3</td><td></td><td>0012</td><td>Data3</td><td></td></tr><tr><td>0013</td><td>Data4</td><td></td><td>0013</td><td>Data4</td><td></td></tr></table> <p>③P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(インisialデータ設定)で指定した交通指定が 2(リピートアウト)、4(FIFO リピート)のときは、i_bReception(結果受信)の ON で、次の ID タグの検出を開始します。</p> <p>④エラーの場合は、o_bErr(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、o_wErrID にはエラーコードをセットします。</p> <p>エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>⑤ECLEF-V680D2 がエラーとなった場合は、o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_uModuleErr(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。</p> <p>エラーコードの詳細は、ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p>	ID タグの アドレス	メモリ	CPU ユニットの デバイス	ID タグの アドレス	メモリ	CPU ユニットの デバイス	0010	Data1	Data1 : Data2	0010	Data1	Data2 : Data1	0011	Data2	Data3 : Data4	0011	Data2	Data4 : Data3	0012	Data3		0012	Data3		0013	Data4		0013	Data4	
	ID タグの アドレス	メモリ	CPU ユニットの デバイス	ID タグの アドレス	メモリ	CPU ユニットの デバイス																									
	0010	Data1	Data1 : Data2	0010	Data1	Data2 : Data1																									
	0011	Data2	Data3 : Data4	0011	Data2	Data4 : Data3																									
	0012	Data3		0012	Data3																										
0013	Data4		0013	Data4																											

項目	内容
	⑥ 読出し処理中に i_bEN(実行命令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。io_dReadData(読出しデータ間接アドレス)で指定したデバイスには中断するまで読出したデータを格納します。
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、i_bEN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑦ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5～Z9 およびデータレジスタ D5000～D5001 を使用していません。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタおよび当データレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑧ ID タグのリードの交信指定、交信設定、処理指定およびオート系コマンド待ち時間設定は、本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定してください。</p> <p>⑨ io_dReadData(読出しデータ間接アドレス)には、読出したデータを格納するデバイスの間接アドレスを必ず指定してください。デバイスの間接アドレスは ADRSET 命令で取得します。省略はできません。間接アドレスの詳細は 1.7 節を参照してください。</p> <p>⑩ i_bEN(実行命令)ON 中は、以下の値を変更しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ i_wStartIONo(先頭 I/O No.) ・ i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番) ・ i_wCH(チャンネル番号) ・ i_wAddressNo(先頭アドレス指定) ・ i_wReadByte(処理点数指定) <p>⑪ P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した交信指定が 0(トリガ)、1(オート)、3(FIFO トリガ)のとき、i_bReception(結果受信)は無視されます。</p> <p>⑫ i_bReception(結果受信)にはパルスを入力してください。</p> <p>⑬ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑭ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録 1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑮ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStartIONo(先頭 I/O No.)が間違っていないか、または i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認してください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)

項目	内容
入出力信号の動き	<p>【正常終了の場合】 (トリガ, オート, FIFOトリガ)</p>
	<p>【正常終了の場合】 (リピートオート, FIFO リピート)</p>
	<p>【異常終了の場合】</p>
	<p>【ユニットエラーの場合】</p>
関連マニュアル	<p>ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188)</p> <p>MELSEC iQ-R Ethernet/CC-Link IE ユーザーズマニュアル (スタートアップ編) (SH-081252)</p> <p>MELSEC iQ-R CC-Link IE フィールドネットワークユーザーズマニュアル (応用編) (SH-081255)</p>

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10 進数)	i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1～120 を指定してください。
12(10 進数)	i_wCH(チャンネル番号)の指定が範囲外であるか無効な値です。	チャンネル番号は, 1 または 2 を指定してください。
13(10 進数)	i_wReadByte(処理点数指定)が範囲外です。	【トリガの場合】 処理点数指定は 0001～0800(16 進数)を指定してください。 【トリガ以外の場合】 1 回の ID 命令で読出し可能なデータ量を指定してください。 詳細範囲は、RFID インタフェースユニットユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。
14(10 進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

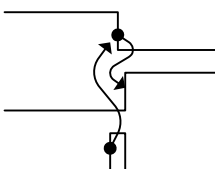


■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
先頭 I/O No.	i_wStartIONo	ワード	対象の CPU ユニットの入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアルを参照してください。	対象の CC-Link IE Field Network システムマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。 (例えば先頭 I/O No.が 00A0 の場合、H0A0 を指定してください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_wStationNo	ワード	1～120 (10 進数)	接続する ECLEF-V680D2 の局番を指定します。
チャンネル番号	i_wCH	ワード	1, 2	書き込みを行うチャンネル番号を指定します。
先頭アドレス指定	i_wAddressNo	ワード	0000～FFFF (16 進数)	ID タグから読出しを行う先頭アドレスを指定します。
処理点数指定	i_wReadByte	ワード	【トリガの場合】 0001～0800 (16 進数) 【トリガ以外の場合】 1 回の ID 命令で読出し可能なデータ量によります。 詳細範囲は、RFID インタフェースユニットユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。	ID タグから読出しを行う処理バイト数を指定します。
結果受信	i_bReception	ビット	—	複数の ID タグから読出し処理を行う命令を実行した際、次の結果を受信するためにパルスを入力します。 ON: 次の ID タグの検出を開始します。
読出しデータ (間接アドレス)	io_dReadData	ダブルワード	00000000～FFFFFFFF (16 進数)	読出したデータを格納するデバイスの間接アドレスを指定します。 間接アドレスの詳細は 1.7 節を参照してください。



■出力ラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	o_bOK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	o_bErr	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	o_wErrID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON:RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF:正常。
ユニットエラーコード	o_uModuleErr	ワード [符号なし]	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。
読出しデータ (間接アドレス)	io_dReadData	ダブル ワード	-	ID タグから読出したデータを、間接アドレスで指定したデバイスから、処理点数指定で指定したバイト数分、格納します。
ID 交信完了	o_bIDComEnd	ビット	OFF	アンテナ未接続などの要因で RFID インタフェースユニット側が交信を打ち切る際、i_bReception (結果受信)ON 後に ON します。 

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2015/12/01	新規作成

お願い

本章は FB の機能について記載しております。
 ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
 ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 3 P+MEE-ECLEF-V680D2_Write_R(ID タグのライト)

名称

P+MEE-ECLEF-V680D2_Write_R

機能内容

項目	内容																																			
機能概要	ID タグヘデータを書込みます。																																			
シンボル	<div>P+MEE-ECLEF-V680D2_Write_R</div> <table><tr><td>実行命令</td><td>B : i_bEN</td><td>o_bENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭I/O No.</td><td>W : i_wStartIONo</td><td>o_bOK : B</td><td>完了フラグ</td></tr><tr><td>CC-Link IE Field Network局番</td><td>W : i_wStationNo</td><td>o_bError : B</td><td>異常完了フラグ</td></tr><tr><td>チャンネル番号</td><td>W : i_wCH</td><td>o_wErrID : W</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td>先頭アドレス指定</td><td>W : i_wAddressNo</td><td>o_bModuleErr : B</td><td>ユニットエラー</td></tr><tr><td>処理点数指定</td><td>W : i_wWriteByte</td><td>o_uModuleErr : UW</td><td>ユニットエラーコード</td></tr><tr><td>書込みデータ (間接アドレス指定)</td><td>D : i_dWriteData</td><td>o_bIDComEnd : B</td><td>ID交信完了</td></tr><tr><td>結果受信</td><td>B : i_bReception</td><td></td><td></td></tr></table>				実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態	先頭I/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network局番	W : i_wStationNo	o_bError : B	異常完了フラグ	チャンネル番号	W : i_wCH	o_wErrID : W	エラーコード	先頭アドレス指定	W : i_wAddressNo	o_bModuleErr : B	ユニットエラー	処理点数指定	W : i_wWriteByte	o_uModuleErr : UW	ユニットエラーコード	書込みデータ (間接アドレス指定)	D : i_dWriteData	o_bIDComEnd : B	ID交信完了	結果受信	B : i_bReception		
	実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態																																
	先頭I/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ																																
	CC-Link IE Field Network局番	W : i_wStationNo	o_bError : B	異常完了フラグ																																
	チャンネル番号	W : i_wCH	o_wErrID : W	エラーコード																																
	先頭アドレス指定	W : i_wAddressNo	o_bModuleErr : B	ユニットエラー																																
	処理点数指定	W : i_wWriteByte	o_uModuleErr : UW	ユニットエラーコード																																
	書込みデータ (間接アドレス指定)	D : i_dWriteData	o_bIDComEnd : B	ID交信完了																																
	結果受信	B : i_bReception																																		
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																																		
	対象 CC-Link IE Field Network システム	シリーズ	モデル																																	
		MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2																																	
	対象 CPU	シリーズ	モデル																																	
MELSEC iQ-R シリーズ		R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU																																		
対象機器	GX Works3	シリーズ	モデル																																	
MELSEC iQ-R シリーズ		Version1.015R 以降																																		
記述言語	ラダー																																			
ステップ数	998Step(MELSEC iQ-R シリーズの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、入出力定義によって異なります。																																			

項目	内容																														
機能説明	<p>①i_bEN(実行命令)の ON で、i_dWriteData(書き込みデータ間接アドレス)で指定した先頭デバイスから格納されたデータを ID タグの i_wAddressNo(先頭アドレス指定)から i_wWriteByte(処理点数指定)で指定されたバイト数書込みます。 書込みが完了すると o_bOK(完了フラグ)が ON します。</p> <div><div>開始</div><div>i_bENをONにする。</div><div><div>CC-Link IE Field Network 局番 範囲チェック</div><div>範囲外</div><div>1～120</div><div>チャンネル番号 範囲チェック</div><div>範囲外</div><div>1または2</div><div>ECLEF-V680D2の 状態チェック</div><div>ID-BUSY信号ON</div><div>ID-BUSY信号OFF</div><div>IDタグヘータを書込む。</div><div>ECLEF-V680D2の エラーチェック</div><div>エラー検出信号ON</div><div>ID命令完了信号ON</div><div>o_bOKがONする。</div><div>o_uModuleErrにユニット エラーコードをセットする。</div><div>o_bModuleErrがONする。</div><div>o_wErrIDにエラーコードを セットする。</div><div>o_bErrorがONする。</div><div>i_bENをOFFにする。</div><div>終了</div></div><p>②P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した処理指定が 0 のときは上位→下位、1 のときは下位→上位のデータ格納順になります。 (例)</p><div><div>0: 上位→下位</div><div>1: 下位→上位</div><div><table><tr><th>CPU ユニットの デバイス</th><th>ID タグの アドレス</th><th>ID タグの メモリ</th></tr><tr><td>Data1 : Data2</td><td>0010</td><td>Data1</td></tr><tr><td>Data3 : Data4</td><td>0011</td><td>Data2</td></tr><tr><td></td><td>0012</td><td>Data3</td></tr><tr><td></td><td>0013</td><td>Data4</td></tr></table></div><div><table><tr><th>CPU ユニットの デバイス</th><th>ID タグの アドレス</th><th>ID タグの メモリ</th></tr><tr><td>Data2 : Data1</td><td>0010</td><td>Data1</td></tr><tr><td>Data4 : Data3</td><td>0011</td><td>Data2</td></tr><tr><td></td><td>0012</td><td>Data3</td></tr><tr><td></td><td>0013</td><td>Data4</td></tr></table></div></div><p>③P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した発信指定が 2(リピートオート)、4(FIFO リピート)のときは、i_bReception(結果受信)の ON で、次の ID タグの検出を開始します。</p><p>④エラーの場合は、o_bErr(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、o_wErrID にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p><p>⑤ECLEF-V680D2 がエラーとなった場合は、o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_uModuleErr(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p></div>	CPU ユニットの デバイス	ID タグの アドレス	ID タグの メモリ	Data1 : Data2	0010	Data1	Data3 : Data4	0011	Data2		0012	Data3		0013	Data4	CPU ユニットの デバイス	ID タグの アドレス	ID タグの メモリ	Data2 : Data1	0010	Data1	Data4 : Data3	0011	Data2		0012	Data3		0013	Data4
	CPU ユニットの デバイス	ID タグの アドレス	ID タグの メモリ																												
	Data1 : Data2	0010	Data1																												
	Data3 : Data4	0011	Data2																												
		0012	Data3																												
	0013	Data4																													
CPU ユニットの デバイス	ID タグの アドレス	ID タグの メモリ																													
Data2 : Data1	0010	Data1																													
Data4 : Data3	0011	Data2																													
	0012	Data3																													
	0013	Data4																													

項目	内容
	⑥書込み処理中に i_bEN(実行命令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。 ID タグヘデータ書込み中であれば中断するまでのデータが書込まれます。
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、i_bEN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑦ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5～Z9 およびデータレジスタ D5000～D5001 を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタおよび当データレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑧ ID タグのライトの交信指定、交信設定、処理指定およびオート系コマンド待ち時間設定は、本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定してください。</p> <p>⑨ i_dWriteData(書込みデータ間接アドレス指定)には、書込むデータを格納したデバイスの間接アドレスを必ず指定してください。デバイスの間接アドレスは ADDRSET 命令で取得します。省略はできません。間接アドレスの詳細は 1.7 節を参照してください。</p> <p>⑩ i_bEN(実行命令)ON 中は、以下の値を変更しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ i_wStartIONo(先頭 I/O No.) ・ i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番) ・ i_wCH (チャンネル番号) ・ i_wAddressNo(先頭アドレス指定) ・ i_wWriteByte(処理点数指定) ・ i_dWriteData(書込みデータ間接アドレス指定) <p>⑪ P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した交信指定が 0(トリガ)、1(オート)、3(FIFO トリガ)のとき、i_bReception(結果受信)は無視されます。</p> <p>⑫ i_bReception(結果受信)にはパルスを入力してください。</p> <p>⑬ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p>

項目	内容
	<p>⑭ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑮ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStartIONo(先頭 I/O No.)が間違っていないか、または i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<p>【正常終了の場合】 (トリガ、オート、FIFO トリガ)</p> <p>【正常終了の場合】 (リピートオート、FIFO リピート)</p>
	<p>【異常終了の場合】</p>
	<p>【ユニットエラーの場合】</p>

項目	内容
関連マニュアル	ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188)
	MELSEC iQ-R Ethernet/CC-Link IE ユーザーズマニュアル (スタートアップ編) (SH-081252)
	MELSEC iQ-R CC-Link IE フィールドネットワークユーザーズマニュアル (応用編) (SH-081255)

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10 進数)	i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1～64 を指定してください。
12(10 進数)	i_wCH(チャンネル番号)の指定が範囲外であるか無効な値です。	チャンネル番号は、1 または 2 を指定してください。
13(10 進数)	i_wWriteByte(処理点数指定)が範囲外です。	【トリガの場合】 処理点数指定は 0001～0800(16 進数)を指定してください。 【トリガ以外の場合】 1 回の ID 命令で書込み可能なデータ量を指定してください。 詳細範囲は、RFID インタフェースユニットユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。
14(10 進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
先頭 I/O No.	i_wStartIONo	ワード	対象の CPU ユニットの 入出力点数範囲に よります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアル を参照してください。	対象の CC-Link IE Field Network システム マスタ・ローカルユニットが装着されている 先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。 (例えば先頭 I/O No.が 00A0 の場合、 H0A0 を指定してください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_wStationNo	ワード	1～64(10 進数)	接続する ECLEF-V680D2 の局番を指定し ます。
チャンネル番号	i_wCH	ワード	1, 2	書込みを行うチャンネル番号を指定しま す。
先頭アドレス指定	i_wAddressNo	ワード	0000～FFFF (16 進数)	ID タグへ書込みを行う先頭アドレスを指定 します。
処理点数指定	i_wWriteByte	ワード	【トリガの場合】 0001～0800 (16 進数) 【トリガ以外の場合】 1 回の ID 命令で書込 み可能なデータ量によ ります。 詳細範囲は、RFID イン タフェースユニットユー ザーズマニュアル(詳 細編)を参照してくださ い。	ID タグへ書込みを行う処理バイト数を指定 します。
書込みデータ (間接アドレス)	i_dWriteData	ダブル ワード	00000000～FFFFFFFF (16 進数)	書込むデータを格納したデバイスの間接ア ドレスを指定してください。 間接アドレスの詳細は 1.7 節を参照してく ださい。 書込みデータは、i_dWriteByte(処理点数 指定)で指定したバイト数のデータを書込 みます。
結果受信	i_bReception	ビット	—	複数の ID タグへ書込み処理を行う命令を 実行した際、次の結果を受信するために パルスを入力します。 ON: 次の ID タグの検出を開始します。

■出力ラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	o_bOK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	o_bErr	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	o_wErrID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON:RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF:正常。
ユニットエラーコード	o_uModuleErr	ワード [符号なし]	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。
ID 交信完了	o_bIDComEnd	ビット	OFF	アンテナ未接続などの要因で RFID インタフェースユニット側が交信を打ち切る際、i_bReception (結果受信)ON 後に ON します。 

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2015/12/01	新規作成

お願い

本章は FB の機能について記載しております。
 ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
 ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 4 P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill_R (ID タグのデータフィル)

名称

P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill_R

機能内容

項目	内容																																			
機能概要	指定したデータで ID タグを初期化します。																																			
シンボル	<div>P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill_R</div> <table><tr><td>実行命令</td><td>B : i_bEN</td><td>o_bENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭/O No.</td><td>W : i_wStartIONo</td><td>o_bOK : B</td><td>完了フラグ</td></tr><tr><td>CC-Link IE Field Network 局番</td><td>W : i_wStationNo</td><td>o_bErr : B</td><td>異常完了フラグ</td></tr><tr><td>チャンネル番号</td><td>W : i_wCH</td><td>o_wErrID : W</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td>先頭アドレス指定</td><td>W : i_wAddressNo</td><td>o_bModuleErr : B</td><td>ユニットエラー</td></tr><tr><td>処理点数指定</td><td>W : i_wFillByte</td><td>o_uModuleErr : UW</td><td>ユニットエラーコード</td></tr><tr><td>フィルデータ</td><td>W : i_wFillData</td><td>o_bIDComEnd : B</td><td>ID通信完了</td></tr><tr><td>結果受信</td><td>B : i_bReception</td><td></td><td></td></tr></table>				実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態	先頭/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network 局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了フラグ	チャンネル番号	W : i_wCH	o_wErrID : W	エラーコード	先頭アドレス指定	W : i_wAddressNo	o_bModuleErr : B	ユニットエラー	処理点数指定	W : i_wFillByte	o_uModuleErr : UW	ユニットエラーコード	フィルデータ	W : i_wFillData	o_bIDComEnd : B	ID通信完了	結果受信	B : i_bReception		
	実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態																																
	先頭/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ																																
	CC-Link IE Field Network 局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了フラグ																																
	チャンネル番号	W : i_wCH	o_wErrID : W	エラーコード																																
	先頭アドレス指定	W : i_wAddressNo	o_bModuleErr : B	ユニットエラー																																
	処理点数指定	W : i_wFillByte	o_uModuleErr : UW	ユニットエラーコード																																
	フィルデータ	W : i_wFillData	o_bIDComEnd : B	ID通信完了																																
	結果受信	B : i_bReception																																		
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																																		
	対象 CC-Link IE Field Network システム	シリーズ	モデル																																	
		MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2																																	
	対象 CPU	シリーズ	モデル																																	
		MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU																																	
対象機器	GX Works3	シリーズ	モデル																																	
		MELSEC iQ-R シリーズ	Version1.015R 以降																																	
記述言語	ラダー																																			
ステップ数	865Step(MELSEC iQ-R シリーズの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、入出力定義によって異なります。																																			

項目	内容																														
機能説明	<p>①i_bEN(実行命令)の ON で、ID タグの i_wAddressNo(先頭アドレス指定)から i_wFillByte(処理点数指定)で指定されたバイト数を i_wFillData(フィルデータ)でフィルします。 フィルが完了すると o_bOK(完了フラグ)が ON します。</p> <div><div>開始</div><div>i_bENをONにする。</div><div><div>FB内部処理</div><div><div>CC-Link IE Field Network 局番 範囲チェック</div><div>範囲外</div><div>1～120</div><div>チャンネル番号 範囲チェック</div><div>範囲外</div><div>1または2</div><div>ECLEF-V680D2の 状態チェック</div><div>ID-BUSY信号ON</div><div>ID-BUSY信号OFF</div><div>IDタグのデータをフィルする。</div><div>ECLEF-V680D2の エラーチェック</div><div>エラー検出信号ON</div><div>ID命令完了信号 ON</div><div>o_uModuleErrにユニット エラーコードをセットする。</div><div>o_wErrIDにエラーコードを セットする。</div><div>o_bOKがONする。</div><div>o_bModuleErrがONする。</div><div>o_bErrorがONする。</div></div><div>i_bENをOFFにする。</div><div>終了</div></div></div> <p>②P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(インisialデータ設定)で指定した処理指定が 0 のときは 上位→下位、1 のときは下位→上位のデータ格納順になります。 (例)</p> <div><div>0: 上位→下位</div><div><table><tr><th>フィルデータ</th><th>アドレス</th><th>ID タグの メモリ</th></tr><tr><td>Data1</td><td>0010</td><td>Data1</td></tr><tr><td>Data2</td><td>0011</td><td>Data2</td></tr><tr><td></td><td>0012</td><td>Data1</td></tr><tr><td></td><td>0013</td><td>Data2</td></tr></table></div></div> <div><div>1: 下位→上位</div><div><table><tr><th>フィルデータ</th><th>アドレス</th><th>ID タグの メモリ</th></tr><tr><td>Data2</td><td>0010</td><td>Data1</td></tr><tr><td>Data1</td><td>0011</td><td>Data2</td></tr><tr><td></td><td>0012</td><td>Data1</td></tr><tr><td></td><td>0013</td><td>Data2</td></tr></table></div></div> <p>③P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(インisialデータ設定)で指定した交通指定が 2(リピー オート)、4(FIFO リピート)のときは、i_bReception(結果受信)の ON で、次の ID タグの検出を開 始します。</p> <p>④エラーの場合は、o_bErr(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、o_wErrID にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p>	フィルデータ	アドレス	ID タグの メモリ	Data1	0010	Data1	Data2	0011	Data2		0012	Data1		0013	Data2	フィルデータ	アドレス	ID タグの メモリ	Data2	0010	Data1	Data1	0011	Data2		0012	Data1		0013	Data2
	フィルデータ	アドレス	ID タグの メモリ																												
	Data1	0010	Data1																												
	Data2	0011	Data2																												
	0012	Data1																													
	0013	Data2																													
フィルデータ	アドレス	ID タグの メモリ																													
Data2	0010	Data1																													
Data1	0011	Data2																													
	0012	Data1																													
	0013	Data2																													

項目	内容
	<p>⑤ ECLEF-V680D2 がエラーとなった場合は、o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_uModuleErr(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p> <p>⑥ フィル処理中に i_bEN(実行命令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。 ID タグヘデータ書き込み中であれば最後まで書込まれます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割り込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、i_bEN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑦ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5～Z9 を使用しています。割り込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑧ ID タグのデータフィルの発信指定、発信設定、処理指定およびオート系コマンド待ち時間設定は、本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定してください。</p> <p>⑨ i_bEN(実行命令)ON 中は、以下の値を変更しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ i_wStartIONo(先頭 I/O No.) ・ i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番) ・ i_wCH(チャンネル番号) ・ i_wAddressNo(先頭アドレス指定) ・ i_wFillByte(処理点数指定) ・ i_wFillData(フィルデータ) <p>⑩ P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した発信指定が 0(トリガ)、1(オート)、3(FIFO トリガ)のとき、i_bReception(結果受信)は無視されます。</p> <p>⑪ データフィルでは、ID タグの全データ初期化を行うために、ライトプロテクト機能は動作しません。</p> <p>⑫ i_bReception(結果受信)にはパルスを入力してください。</p> <p>⑬ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑭ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録 1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑮ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStartIONo(先頭 I/O No.)が間違っていないか、または i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)



項目	内容
入出力信号の動き	<div>【正常終了の場合】 (トリガ, オート, FIFOトリガ)</div>
	<div>【正常終了の場合】 (リピートオート, FIFO リピート)</div>
	<div>【異常終了の場合】</div>
	<div>【ユニットエラーの場合】</div>
関連マニュアル	ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188) MELSEC iQ-R Ethernet/CC-Link IE ユーザーズマニュアル (スタートアップ編) (SH-081252) MELSEC iQ-R CC-Link IE フィールドネットワークユーザーズマニュアル (応用編) (SH-081255)

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10 進数)	i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1～120 を指定してください。
12(10 進数)	i_CH(チャンネル番号)の指定が範囲外であるか無効な値です。	チャンネル番号は、1 または 2 を指定してください。
14(10 進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

使用ラベル

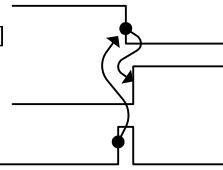
■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
先頭 I/O No.	i_wStartIONo	ワード	対象の CPU ユニットの 入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザズマニュアルを参照してください。	対象の CC-Link IE Field Network システム マスタ・ローカルユニットが装着されて いる先頭 I/O No.を 16 進数で指定しま す。(例えば先頭 I/O No.が 00A0 の場 合、H0A0 を指定してください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_wStationNo	ワード	1～120(10 進数)	接続する ECLEF-V680D2 の局番を指定 します。
チャンネル番号	i_wCH	ワード	1, 2	書込みを行うチャンネル番号を指定しま す。
先頭アドレス指定	i_wAddressNo	ワード	0000～FFFF (16 進数)	ID タグヘフィルを行う先頭アドレスを指定 します。
処理点数指定	i_wFillByte	ワード	0001～0800, 0 (16 進数) 対象 ID タグのメモリ容 量によります。詳細範 囲は、RFID インタフェ ースユニットユーザ ズマニュアル(詳細編) を参照してください。	ID タグヘフィルを行う処理バイト数を指 定します。 0:ID タグの全データをフィルします。
フィルデータ	i_wFillData	ワード	0000～FFFF (16 進数)	フィルするデータを指定してください。 フィルは、i_wFillByte(処理点数指定)で 指定したバイト数のデータを書込みま す。



名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
結果受信	i_bReception	ビット	—	複数の ID タグへフィル処理を行う命令を実行した際、次の結果を受信するためにパルスを入力します。 ON: 次の ID タグの検出を開始します。

■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON: FB 実行中。 OFF: FB 未実行。
完了フラグ	o_bOK	ビット	OFF	ON: FB 正常完了。 OFF: FB 未完了。
異常完了フラグ	o_bErr	ビット	OFF	ON: FB 異常完了。 OFF: FB 未完了。
エラーコード	o_wErrID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON: RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF: 正常。
ユニットエラーコード	o_uModuleErr	ワード [符号なし]	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。
ID 交信完了	o_bIDComEnd	ビット	OFF	アンテナ未接続などの要因で RFID インタフェースユニット側が交信を打ち切る際、i_bReception (結果受信) ON 後に ON します。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> o_bModuleErr [ユニットエラー] o_bIDComEnd [ID交信完了] i_bReception [結果受信] </div>  </div>

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2015/12/01	新規作成

お願い

本章は FB の機能について記載しております。
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 5 P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead_R (ID タグの UID リード)

名称

P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead_R

機能内容

項目	内容																																							
機能概要	ID タグの UID(個別識別番号)を読出します。																																							
シンボル	<table><tr><td colspan="4">P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead_R</td></tr><tr><td>実行命令</td><td>B : i_bEN</td><td>o_bENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭/O No.</td><td>W : i_wStartIONo</td><td>o_bOK : B</td><td>完了フラグ</td></tr><tr><td>CC-Link IE Field Network 局番</td><td>W : i_wStationNo</td><td>o_bErr : B</td><td>異常完了フラグ</td></tr><tr><td>チャンネル番号</td><td>W : i_wCH</td><td>o_wErrID : W</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td>結果受信</td><td>B : i_bReception</td><td>o_bModuleErr : B</td><td>ユニットエラー</td></tr><tr><td>IDタグUID (間接アドレス)</td><td>io_dUID : D</td><td>o_uModuleErr : UW</td><td>ユニットエラーコード</td></tr><tr><td></td><td></td><td>io_dUID : D</td><td>IDタグUID (間接アドレス)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>o_bIDComEnd : B</td><td>ID送信完了</td></tr></table>				P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead_R				実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態	先頭/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network 局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了フラグ	チャンネル番号	W : i_wCH	o_wErrID : W	エラーコード	結果受信	B : i_bReception	o_bModuleErr : B	ユニットエラー	IDタグUID (間接アドレス)	io_dUID : D	o_uModuleErr : UW	ユニットエラーコード			io_dUID : D	IDタグUID (間接アドレス)			o_bIDComEnd : B	ID送信完了
	P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead_R																																							
	実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態																																				
	先頭/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ																																				
	CC-Link IE Field Network 局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了フラグ																																				
	チャンネル番号	W : i_wCH	o_wErrID : W	エラーコード																																				
	結果受信	B : i_bReception	o_bModuleErr : B	ユニットエラー																																				
	IDタグUID (間接アドレス)	io_dUID : D	o_uModuleErr : UW	ユニットエラーコード																																				
			io_dUID : D	IDタグUID (間接アドレス)																																				
			o_bIDComEnd : B	ID送信完了																																				
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																																						
	対象 CC-Link IE Field Network システム	シリーズ	モデル																																					
		MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2																																					
	対象 CPU	シリーズ	モデル																																					
		MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU																																					
対象機器	GX Works3	シリーズ	モデル																																					
		MELSEC iQ-R シリーズ	Version1.015R 以降																																					
記述言語	ラダー																																							
ステップ数	903Step(MELSEC iQ-R シリーズの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、入出力定義によって異なります。																																							

項目	内容
機能説明	<p>①i_bEN(実行命令)の ON で、ID タグの UID を読出します。読出した UID は io_dUID(ID タグ UID 間接アドレス)で指定した先頭デバイスから格納されます。</p> <p>読出しが完了すると o_bOK(完了フラグ)が ON します。</p> <div><p>開始</p><p>i_bENをONにする。</p><div><p>CC-Link IE Field Network 局番 範囲チェック</p><p>範囲外</p><p>1～120</p><p>チャンネル番号 範囲チェック</p><p>範囲外</p><p>1または2</p><p>ECLEF-V680D2の 状態チェック</p><p>ID-BUSY信号ON</p><p>ID-BUSY信号OFF</p><p>IDタグからUIDを読出す。</p><p>ECLEF-V680D2の エラーチェック</p><p>エラー検出信号ON</p><p>ID命令完了信号ON</p><p>io_dUIDで間接アドレス指定 したデバイスに読出したUIDを セットする。</p><p>o_uModuleErrにユニット エラーコードをセットする。</p><p>o_wErrIDにエラーコードを セットする。</p><p>o_bOKがONする。</p><p>o_bModuleErrがONする。</p><p>o_bErrorがONする。</p></div><p>i_bENをOFFにする。</p><p>終了</p></div> <p>②P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(インisialデータ設定)で指定した交信指定が 2(リピート オート)、4(FIFO リピート)のときは、i_bReception(結果受信)の ON で、次の ID タグの検出を開 始します。</p> <p>③エラーの場合は、o_bErr(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、o_wErrID にはエラーコードをセットします。</p> <p>エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>④ECLEF-V680D2 がエラーとなった場合は、o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON し、処理を中断 します。また、o_uModuleErr(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。</p> <p>エラーコードの詳細は、ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p> <p>⑤読出し処理中に i_bEN(実行命令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。io_dUID(ID タ グ UID の間接アドレス) で指定したデバイスには読出したデータを格納しません。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型

項目	内容
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、i_bEN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑦ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5～Z9 およびデータレジスタ D5000～D5001 を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタおよび当データレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑧ ID タグの UID リードの発信指定、発信設定、処理指定およびオート系コマンド待ち時間設定は、本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定してください。</p> <p>⑨ io_dUID(ID タグ UID 間接アドレス)には、読出した UID を格納するデバイスの間接アドレスを必ず指定してください。デバイスの間接アドレスは ADRSET 命令で取得します。省略はできません。間接アドレスの詳細は 1.7 節を参照してください。</p> <p>⑩ i_bEN(実行命令)ON 中は、以下の値を変更しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ i_wStartIONo(先頭 I/O No.) ・ i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番) ・ i_wCH(チャンネル番号) <p>⑪ P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定した発信指定が 0(トリガ)、1(オート)、3(FIFO トリガ)のとき、i_bReception(結果受信)は無視されます。</p> <p>⑫ i_bReception(結果受信)にはパルスを入力してください。</p> <p>⑬ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑭ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録 1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑮ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStartIONo(先頭 I/O No.)が間違っていないか、または i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)

項目	内容
入出力信号の動き	<div>【正常終了の場合】 (トリガ, オート, FIFOトリガ)</div>
	<div>【正常終了の場合】 (リピートオート, FIFO リピート)</div>
	<div>【異常終了の場合】</div>
	<div>【ユニットエラーの場合】</div>
関連マニュアル	<div>ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188)</div> <div>MELSEC iQ-R Ethernet/CC-Link IE ユーザーズマニュアル (スタートアップ編) (SH-081252)</div> <div>MELSEC iQ-R CC-Link IE フィールドネットワークユーザーズマニュアル (応用編) (SH-081255)</div>

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10 進数)	i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1～120 を指定してください。
12(10 進数)	i_wCH(チャンネル番号)の指定が範囲外であるか無効な値です。	チャンネル番号は、1 または 2 を指定してください。
14(10 進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

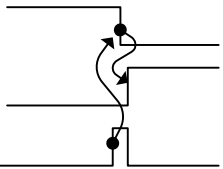
使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
先頭 I/O No.	i_wStartIONo	ワード	対象の CPU ユニットの 入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアル を参照してください。	対象の CC-Link IE Field Network システム マスタ・ローカルユニットが装着されている 先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。(例え ば先頭 I/O No.が 00A0 の場合、H0A0 を指 定してください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_wStationNo	ワード	1～120(10 進数)	接続する ECLEF-V680D2 の局番を指定し ます。
チャンネル番号	i_wCH	ワード	1, 2	書込みを行うチャンネル番号を指定しま す。
結果受信	i_bReception	ビット	—	複数の ID タグから UID の読出し処理を行 う命令を実行した際、次の結果を受信する ためにパルスを入力します。 ON: 次の ID タグの検出を開始します。
ID タグ UID (間接アドレス)	io_dUID	ダブル ワード	00000000～FFFFFFFF (16 進数)	ID タグの UID を格納するデバイスの間接 アドレスを指定します。 間接アドレスの詳細は 1.7 節を参照してく ださい。



■出力ラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	o_bOK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	o_bErr	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	o_wErrID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON:RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF:正常。
ユニットエラーコード	o_uModuleErr	ワード [符号なし]	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。
ID タグ UID (間接アドレス)	io_dUID	ダブル ワード	-	ID タグの UID を、間接アドレスで指定したデバイスから 4 ワード分格納します。
ID 送信完了	o_bIDComEnd	ビット	OFF	アンテナ未接続などの要因で RFID インタフェースユニット側が送信を打ち切る際、i_bReception (結果受信)ON 後に ON します。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> o_bModuleErr [ユニットエラー] o_bIDComEnd [ID送信完了] i_bReception [結果受信] </div>  </div>

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2015/12/01	新規作成

お願い

本章は FB の機能について記載しております。
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 6 P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureNoise_R (ノイズ測定)

名称

P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureNoise_R

機能内容

項目	内容																																			
機能概要	アンテナ周囲のノイズ環境を測定します。																																			
シンボル	<table><tr><td colspan="4">P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureMoise_R</td></tr><tr><td>実行命令</td><td>B : i_bEN</td><td>o_bENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭/O No.</td><td>W : i_wStartIONo</td><td>o_bOK : B</td><td>完了フラグ</td></tr><tr><td>CC-Link IE Field Network 局番</td><td>W : i_wStationNo</td><td>o_bErr : B</td><td>異常完了フラグ</td></tr><tr><td>チャンネル番号</td><td>W : i_wCH</td><td>o_wErrID : W</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td>測定結果 (間接アドレス)</td><td>D : io_dResult</td><td>o_bModuleErr : B</td><td>ユニットエラー</td></tr><tr><td></td><td></td><td>o_uModuleErr : UW</td><td>ユニットエラーコード</td></tr><tr><td></td><td></td><td>io_dResult : D</td><td>測定結果 (間接アドレス)</td></tr></table>				P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureMoise_R				実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態	先頭/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network 局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了フラグ	チャンネル番号	W : i_wCH	o_wErrID : W	エラーコード	測定結果 (間接アドレス)	D : io_dResult	o_bModuleErr : B	ユニットエラー			o_uModuleErr : UW	ユニットエラーコード			io_dResult : D	測定結果 (間接アドレス)
	P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureMoise_R																																			
	実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態																																
	先頭/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ																																
	CC-Link IE Field Network 局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了フラグ																																
	チャンネル番号	W : i_wCH	o_wErrID : W	エラーコード																																
	測定結果 (間接アドレス)	D : io_dResult	o_bModuleErr : B	ユニットエラー																																
		o_uModuleErr : UW	ユニットエラーコード																																	
		io_dResult : D	測定結果 (間接アドレス)																																	
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																																		
	対象 CC-Link IE Field Network システム	シリーズ	モデル																																	
		MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2																																	
	対象 CPU	シリーズ	モデル																																	
		MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU																																	
対象機器	GX Works3	シリーズ	モデル																																	
		MELSEC iQ-R シリーズ	Version1.015R 以降																																	
記述言語	ラダー																																			
ステップ数	714Step(MELSEC iQ-R シリーズの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、入出力定義によって異なります。																																			

項目	内容
機能説明	<p>①i_bEN(実行命令)の ON で、アンテナ周囲のノイズ環境を測定します。測定結果は io_dResult(測定結果間接アドレス)で指定した先頭デバイスから格納されます。測定が完了すると o_bOK(完了フラグ)が ON します。</p> <div><p>開始</p><p>i_bENをONにする。</p><div><p>CC-Link IE Field Network 局番 範囲チェック</p><p>範囲外</p><p>1～120</p><p>チャンネル番号 範囲チェック</p><p>範囲外</p><p>1または2</p><p>ECLEF-V680D2の 状態チェック</p><p>ID-BUSY信号ON</p><p>ID-BUSY信号OFF</p><p>アンテナ周囲のノイズ環境を 測定する。</p><p>ECLEF-V680D2の エラーチェック</p><p>エラー検出信号ON</p><p>ID命令完了信号ON</p><p>io_dResultで間接アドレス指定 したデバイスに読み出した 測定結果をセットする。</p><p>o_uModuleErrにユニット エラーコードをセットする。</p><p>o_wErrIDにエラーコードを セットする。</p><p>o_bOKがONする。</p><p>o_bModuleErrがONする。</p><p>o_bErrorがONする。</p></div><p>i_bENをOFFにする。</p><p>終了</p></div> <p>②エラーの場合は、o_bErr(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、o_wErrID にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>③ECLEF-V680D2 がエラーとなった場合は、o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_uModuleErr(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p> <p>④ノイズ測定中に i_bEN(実行命令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。io_dResult(測定結果間接アドレス)で指定したデバイスにはデータを格納しません。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型

項目	内容
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、i_bEN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑦ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5～Z9 およびデータレジスタ D5000～D5001 を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタおよび当データレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑧ io_dResult(測定結果間接アドレス)には、ノイズ測定結果を格納するエリアの先頭デバイスアドレスを必ず指定してください。省略はできません。</p> <p>⑨ i_bEN(実行命令)ON 中は、以下の値を変更しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ i_wStartIONo(先頭 I/O No.) ・ i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番) ・ i_wCH(チャンネル番号) <p>⑩ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑪ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録 1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑫ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStartIONo(先頭 I/O No.)が間違っていないか、または i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認してください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)

項目	内容
入出力信号の動き	<div> 【正常終了の場合】 </div> <div> 【異常終了の場合】 </div>
	【ユニットエラーの場合】
関連マニュアル	ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188) MELSEC iQ-R Ethernet/CC-Link IE ユーザーズマニュアル (スタートアップ編) (SH-081252) MELSEC iQ-R CC-Link IE フィールドネットワークユーザーズマニュアル (応用編) (SH-081255)

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10 進数)	i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1～120 を指定してください。
12(10 進数)	i_wCH(チャンネル番号)の指定が範囲外であるか無効な値です。	チャンネル番号は, 1 または 2 を指定してください。
14(10 進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
先頭 I/O No.	i_wStartIONo	ワード	対象の CPU ユニットの 入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマ ニュアルを参照してく ださい。	対象の CC-Link IE Field Network システム マスタ・ローカルユニットが装着されている先 頭 I/O No.を 16 進数で指定します。(例えば 先頭 I/O No.が 00A0 の場合、H0A0 を指定し てください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_wStationNo	ワード	1～120(10 進数)	接続する ECLEF-V680D2 の局番を指定しま す。
チャンネル番号	i_wCH	ワード	1, 2	書込みを行うチャンネル番号を指定します。
測定結果 (間接アドレス)	io_dResult	ダブル ワード	00000000～FFFFFFFF (16 進数)	ノイズ測定の測定結果を格納するデバイ スの間接アドレスを指定します。 間接アドレスの詳細は 1.7 節を参照してく ださい。



■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	o_bOK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	o_bErr	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	o_wErrID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_bModuleErr	ビット	OFF	ON:RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF:正常。
ユニットエラーコード	o_uModuleErr	ワード [符号なし]	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。
測定結果 (間接アドレス)	io_dResult	ダブル ワード	-	ノイズ測定の結果を、間接アドレス指定したデバイスから 3 ワード分格納します。 格納エリア +0 平均値 0～99(10 進数) +1 最大値 0～99(10 進数) +2 最小値 0～99(10 進数)

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2015/12/01	新規作成

お願い

本章は FB の機能について記載しております。
 ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
 ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 7 P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead_R (イニシャルデータリード)

名称

P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead_R

機能内容

項目	内容																																							
機能概要	イニシャルデータを読出します。																																							
シンボル	<table><tr><td colspan="4">P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead_R</td></tr><tr><td>実行命令</td><td>B : i_bEN</td><td>o_bENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭/O No.</td><td>W : i_wStartIONo</td><td>o_bOK : B</td><td>完了フラグ</td></tr><tr><td>CC-Link IE Field Network 局番</td><td>W : i_wStationNo</td><td>o_bErr : B</td><td>異常完了フラグ</td></tr><tr><td>チャンネル番号</td><td>W : i_wCH</td><td>o_wErrID : W</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td></td><td></td><td>o_wCommunication : W</td><td>交信指定</td></tr><tr><td></td><td></td><td>o_wCommSetting : W</td><td>交信設定</td></tr><tr><td></td><td></td><td>o_wProcessingNo : W</td><td>処理指定</td></tr><tr><td></td><td></td><td>o_wWait : W</td><td>オート系コマンド待ち時間設定</td></tr></table>				P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead_R				実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態	先頭/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network 局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了フラグ	チャンネル番号	W : i_wCH	o_wErrID : W	エラーコード			o_wCommunication : W	交信指定			o_wCommSetting : W	交信設定			o_wProcessingNo : W	処理指定			o_wWait : W	オート系コマンド待ち時間設定
P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead_R																																								
実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態																																					
先頭/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ																																					
CC-Link IE Field Network 局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了フラグ																																					
チャンネル番号	W : i_wCH	o_wErrID : W	エラーコード																																					
		o_wCommunication : W	交信指定																																					
		o_wCommSetting : W	交信設定																																					
		o_wProcessingNo : W	処理指定																																					
		o_wWait : W	オート系コマンド待ち時間設定																																					
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																																						
	対象 CC-Link IE Field Network システム	シリーズ	モデル																																					
		MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2																																					
	対象 CPU	シリーズ	モデル																																					
MELSEC iQ-R シリーズ		R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU																																						
対象機器	GX Works3	シリーズ	モデル																																					
		MELSEC iQ-R シリーズ	Version1.015R 以降																																					
記述言語	ラダー																																							
ステップ数	673Step(MELSEC iQ-R シリーズの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、入出力定義によって異なります。																																							

項目	内容
機能説明	<p>①i_bEN(実行命令)の ON で、イニシャルデータを読出します。読出したデータは o_wCommunication(交信指定)、o_wCommSetting(交信設定)、o_wProcessingNo(処理指定)、o_wWait(オート系コマンド待ち時間設定)にセットします。 読出しが完了すると o_bOK(完了フラグ)が ON します。</p> <div><p>開始</p><p>i_bENをONにする。</p><p>FB内部処理</p><div><p>CC-Link IE Field Network 局番 範囲チェック 1～120</p><p>範囲外</p><p>チャンネル番号 範囲チェック 1または2</p><p>範囲外</p><p>ECLEF-V680D2の 状態チェック</p><p>ID-BUSY信号ON</p><p>ID-BUSY信号OFF</p><p>イニシャルデータを読出す。</p><p>o_wCommunication、 o_wCommSetting、 o_wProcessingNo、 o_wWaitに読出した イニシャルデータをセットする。</p><p>o_bOKがONする。</p><p>o_wErrIDにエラーコードを セットする。</p><p>o_bErrがONする。</p></div><p>i_bENをOFFにする。</p><p>終了</p></div> <p>②エラーの場合は、o_bErr(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、o_wErrID にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型
制約事項・注意事項 等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、i_bEN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p>

項目	内容
	<p>⑦ 本FBではインデックスレジスタZ5～Z9を使用しています。割り込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑧ i_bEN(実行命令)ON中は、以下の値を変更しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ i_wStartIONo(先頭 I/O No.) ・ i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番) ・ i_wCH(チャンネル番号) <p>⑨ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に2重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑩ CC-Link IE Field Network システム用 FB は1枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2枚以上のマスタ・ローカルユニットをFBで制御する場合には項「付録1 2枚以上のマスタ・ローカルユニットでFBを使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑪ 本FBの処理が完了しない場合、i_wStartIONo(先頭 I/O No.)が間違っていないか、または i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本FBを実行する前にP+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div> <div>【正常終了の場合】</div> </div> <div> <div>【異常終了の場合】</div> </div>
関連マニュアル	<p>ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188)</p> <p>MELSEC iQ-R Ethernet/CC-Link IE ユーザーズマニュアル (スタートアップ編) (SH-081252)</p> <p>MELSEC iQ-R CC-Link IE フィールドネットワークユーザーズマニュアル (応用編) (SH-081255)</p>

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10 進数)	i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1～120 を指定してください。
12(10 進数)	i_wCH(チャンネル番号)の指定が範囲外であるか無効な値です。	チャンネル番号は, 1 または 2 を指定してください。
14(10 進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

使用ラベル

■入カラベル

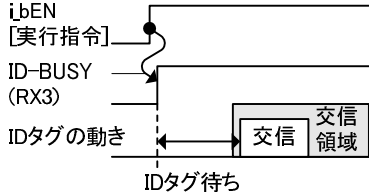
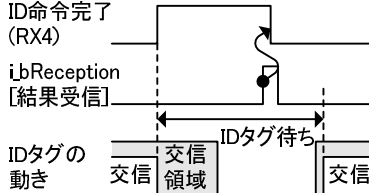
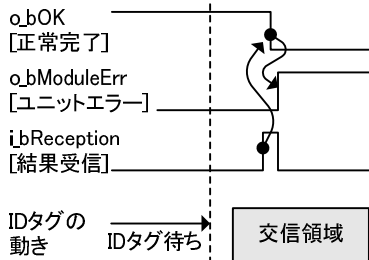
名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
先頭 I/O No.	i_wStartIONo	ワード	対象の CPU ユニットの 入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアル を参照してください。	対象の CC-Link IE Field Network システム マスター・ローカルユニットが装着されて いる先頭 I/O No.を 16 進数で指定しま す。(例えば先頭 I/O No.が 00A0 の場 合、H0A0 を指定してください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_wStationNo	ワード	1～120(10 進数)	接続する ECLEF-V680D2 の局番を指定 します。
チャンネル番号	i_wCH	ワード	1, 2	書込みを行うチャンネル番号を指定しま す。

■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	o_bOK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	o_bErr	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	o_wErrID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。

名称	変数名	データ型	初期値	説明												
交信指定	o_wCommunication	ワード	0	ID タグに対する交信方法が格納されます。 0:トリガ 1:オート 2:リピートオート 3:FIFO トリガ 4:FIFO リピート												
交信設定	o_wCommSetting	ワード	0	<table><tr><td colspan="2">ID タグに対するの交信設定が格納されます。</td></tr><tr><td>ビット</td><td>内容</td></tr><tr><td>0</td><td>ライトベリファイ設定 0:実行する 1:実行しない</td></tr><tr><td>1</td><td>ID タグ交信速度設定 0:標準モード 1:高速モード</td></tr><tr><td>2</td><td>ライトプロテクト設定 0:有効 1:無効</td></tr><tr><td>3</td><td>リード／ライトデータコード設定 0:ASCII/HEX 変換なし 1:ASCII/HEX 変換あり</td></tr></table> ビット 4～15 は 0。	ID タグに対するの交信設定が格納されます。		ビット	内容	0	ライトベリファイ設定 0:実行する 1:実行しない	1	ID タグ交信速度設定 0:標準モード 1:高速モード	2	ライトプロテクト設定 0:有効 1:無効	3	リード／ライトデータコード設定 0:ASCII/HEX 変換なし 1:ASCII/HEX 変換あり
ID タグに対するの交信設定が格納されます。																
ビット	内容															
0	ライトベリファイ設定 0:実行する 1:実行しない															
1	ID タグ交信速度設定 0:標準モード 1:高速モード															
2	ライトプロテクト設定 0:有効 1:無効															
3	リード／ライトデータコード設定 0:ASCII/HEX 変換なし 1:ASCII/HEX 変換あり															
処理指定	o_wProcessingNo	ワード	0	<table><tr><td colspan="2">ID タグに対するコマンドのデータ処理方法を格納します。</td></tr><tr><td>コマンド</td><td>処理指定</td></tr><tr><td>リード</td><td>データ格納順</td></tr><tr><td>ライト</td><td>0:上位→下位 1:下位→上位</td></tr><tr><td>データフィル</td><td></td></tr></table> 詳細は、各コマンドの機能説明を参照してください。 上記コマンド以外は、処理指定を使用しません。	ID タグに対するコマンドのデータ処理方法を格納します。		コマンド	処理指定	リード	データ格納順	ライト	0:上位→下位 1:下位→上位	データフィル			
ID タグに対するコマンドのデータ処理方法を格納します。																
コマンド	処理指定															
リード	データ格納順															
ライト	0:上位→下位 1:下位→上位															
データフィル																



名称	変数名	データ型	初期値	説明
オート系コマンド 待ち時間設定	o_wWait	ワード	0	<p> 通信指定がオート系コマンド(オート、リピートオート、FIFO リピート)の場合の、ID タグの検出待ち時間が 0.1 秒単位で格納されます。 (例えば 30 秒の場合、K300 が格納されます。) ID タグからの応答があるまで検出待ちの場合は 0 が格納されます。 各 FB でコマンドを実行するときの待ち時間を下図に示します。 【オート、リピートオート、FIFO リピートの場合】 </p>  <p> 【リピートオート、FIFO リピートの場合】 </p>  <p> i_bReception(結果受信)ON 前に設定した待ち時間が経過したときは、i_bReception(結果受信)ON 後に o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON します。 </p> 

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2015/12/01	新規作成

お願い

本章は FB の機能について記載しております。
 ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
 ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

2. 8 P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead_R (ユニット状態読出し)

名称

P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead_R

機能内容

項目	内容			
機能概要	ユニット状態を読出します。			
シンボル	実行命令	P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead_R		
		B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態
	先頭/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ
	CC-Link IE Field Network 局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了フラグ
			o_wErrID : W	エラーコード
			o_wCH1UnitState : W	ユニット状態(CH1)
			o_wCH2UnitState : W	ユニット状態(CH2)
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2		
	対象 CC-Link IE Field Network システム	シリーズ	モデル	
		MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2	
	対象 CPU	シリーズ	モデル	
		MELSEC iQ-R シリーズ	R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU	
	GX Works3	シリーズ	モデル	
		MELSEC iQ-R シリーズ	Version1.015R 以降	
記述言語	ラダー			
ステップ数	459Step(MELSEC iQ-R シリーズの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、入出力定義によって異なります。			

項目	内容
機能説明	<p>①i_bEN(実行命令)の ON で、ユニット状態を読出します。読出したユニット状態は、o_wCH1UnitState, o_wCH2UnitState (ユニット状態) にセットします。 読出しが完了すると o_bOK(完了フラグ)が ON します。</p> <div><p>開始</p><p>i_bENをONにする。</p><div><p>CC-Link IE Field Network 局番 範囲チェック</p><p>範囲外</p><p>1～120</p><p>ユニット状態を読出す。</p><p>・o_wCH1UnitState ・o_wCH2UnitState に読出したユニット状態を セットする。</p><p>o_bOKがONする。</p><p>o_wErrIDにエラーコードを セットする。</p><p>o_bErrがONする。</p></div><p>i_bENをOFFにする。</p><p>終了</p></div> <p>②本 FB は i_bEN(実行命令)の ON で 1 回のみ動作します。</p> <p>③エラーの場合は、o_bErr(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、o_wErrID にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型

項目	内容
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用する場合、対象 CC-Link IE Field Network 局番が重複しないように注意してください。</p> <p>⑥ 1 回しか実行されないプログラム(例えば、サブルーチンプログラムや FOR～NEXT)で FB を使用すると、i_bEN(実行命令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、i_bEN(実行命令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。</p> <p>⑦ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5～Z9 を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑧ i_bEN(実行命令)ON 中は、以下の値を変更しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ i_wStartIONo(先頭 I/O No.) ・ i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番) <p>⑨ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑩ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録 1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑪ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStartIONo(先頭 I/O No.)が間違っていないか、または i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認してください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)
入出力信号の動き	<div> <div> <p>【正常終了の場合】</p> </div> <div> <p>【異常終了の場合】</p> </div> </div>
関連マニュアル	<p>ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188)</p> <p>MELSEC iQ-R Ethernet/CC-Link IE ユーザーズマニュアル (スタートアップ編) (SH-081252)</p> <p>MELSEC iQ-R CC-Link IE フィールドネットワークユーザーズマニュアル (応用編) (SH-081255)</p>

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10 進数)	i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1～120 を指定してください。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
先頭 I/O No.	i_wStartIONo	ワード	対象の CPU ユニットの出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザーズマニュアルを参照してください。	対象の CC-Link IE Field Network システムマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。(例えば先頭 I/O No.が 00A0 の場合、H0A0 を指定してください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_wStationNo	ワード	1～120(10 進数)	接続する ECLEF-V680D2 の局番を指定します。

■出カラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	o_bOK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	o_bErr	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	o_wErrID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニット状態	o_wCH1UnitState (CH1) o_wCH2UnitState (CH2)	ワード	0	RFID インタフェースユニットの状態を確認できます。 ビット 0:アンテナエラー 0:正常、もしくはアンテナ未接続。 1:設定アンテナと異なるアンテナが接続されています。 ビット 1:未使用 ビット 2:テストモード 0:RUN モード中。 1:テストモード中。 ビット 3～15:未使用



FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2015/12/01	新規作成

お願い

本章は FB の機能について記載しております。
ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。
ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。



2. 9 P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy_R (ID タグ間のコピー)

名称

P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy_R

機能内容

項目	内容																																			
機能概要	チャンネル 1 とチャンネル 2 の間で ID タグのデータをコピーします。																																			
シンボル	<table><tr><td></td><td colspan="2">P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy_R</td><td></td></tr><tr><td>実行命令</td><td>B : i_bEN</td><td>o_bENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭/O No.</td><td>W : i_wStartIONo</td><td>o_bOK : B</td><td>完了フラグ</td></tr><tr><td>CC-Link IE Field Network 局番</td><td>W : i_wStationNo</td><td>o_bErr : B</td><td>異常完了フラグ</td></tr><tr><td>チャンネル番号</td><td>W : i_wCH</td><td>o_wErrID : W</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td>コピー元先頭アドレス指定</td><td>W : i_wSrcAddress</td><td>o_bModuleErr : B</td><td>ユニットエラー</td></tr><tr><td>処理点数指定</td><td>W : i_wCopyByte</td><td>o_uModuleErr : UW</td><td>ユニットエラーコード</td></tr><tr><td>コピー先先頭アドレス指定</td><td>W : i_wDesAddress</td><td></td><td></td></tr></table>					P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy_R			実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態	先頭/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ	CC-Link IE Field Network 局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了フラグ	チャンネル番号	W : i_wCH	o_wErrID : W	エラーコード	コピー元先頭アドレス指定	W : i_wSrcAddress	o_bModuleErr : B	ユニットエラー	処理点数指定	W : i_wCopyByte	o_uModuleErr : UW	ユニットエラーコード	コピー先先頭アドレス指定	W : i_wDesAddress		
	P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy_R																																			
実行命令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態																																	
先頭/O No.	W : i_wStartIONo	o_bOK : B	完了フラグ																																	
CC-Link IE Field Network 局番	W : i_wStationNo	o_bErr : B	異常完了フラグ																																	
チャンネル番号	W : i_wCH	o_wErrID : W	エラーコード																																	
コピー元先頭アドレス指定	W : i_wSrcAddress	o_bModuleErr : B	ユニットエラー																																	
処理点数指定	W : i_wCopyByte	o_uModuleErr : UW	ユニットエラーコード																																	
コピー先先頭アドレス指定	W : i_wDesAddress																																			
対象機器	対象ユニット	ECLEF-V680D2																																		
	対象 CC-Link IE Field Network システム	シリーズ	モデル																																	
		MELSEC iQ-R シリーズ	RJ71GF11-T2																																	
	対象 CPU	シリーズ	モデル																																	
MELSEC iQ-R シリーズ		R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU																																		
対象機器	GX Works3	シリーズ	モデル																																	
		MELSEC iQ-R シリーズ	Version1.015R 以降																																	
記述言語	ラダー																																			
ステップ数	717Step(MELSEC iQ-R シリーズの場合) ※ プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、入出力定義によって異なります。																																			

項目	内容
機能説明	<p>①i_bEN(実行命令)の ON で、コピー元の ID タグのデータを読み出し、コピー先の ID タグヘデータを書込みます。 コピーが完了すると o_bOK(完了フラグ)が ON します。</p> <div><p>開始</p><p>i_bENをONにする。</p><div><p>CC-Link IE Field Network 局番 範囲チェック</p><p>範囲外</p><p>1～120</p><p>チャンネル番号 範囲チェック</p><p>範囲外</p><p>1または2</p><p>ECLEF-V680D2の 状態チェック</p><p>ID-BUSY信号ON</p><p>ID-BUSY信号OFF</p><p>IDタグのデータをコピーする。</p><p>ECLEF-V680D2の エラーチェック</p><p>エラー検出信号ON</p><p>ID命令完了信号ON</p><p>o_uModuleErrにユニット エラーコードをセットする。</p><p>o_wErrIDにエラーコードを セットする。</p><p>o_bOKがONする。</p><p>o_bModuleErrがONする。</p><p>o_bErrがONする。</p></div><p>i_bENをOFFにする。</p><p>終了</p></div> <p>②コピー元の 交信指定はトリガまたはオートのみ指定可能です。コピー先の 交信指定は選択できず、トリガで実行します。</p> <p>③エラーの場合は、o_bErr(異常完了フラグ)が ON し、FB の処理を中断します。また、o_wErrID にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、エラーコード一覧を参照してください。</p> <p>④ECLEF-V680D2 がエラーとなった場合は、o_bModuleErr(ユニットエラー)が ON し、処理を中断します。また、o_uModuleErr(ユニットエラーコード)にはエラーコードをセットします。 エラーコードの詳細は、ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編)を参照してください。</p> <p>⑤コピー処理中に i_bEN(実行命令)を OFF した場合は FB の処理を中断します。ID タグヘデータ書き込み中であれば最後まで書込まれます。</p>
FB コンパイル方式	マクロ型

項目	内容
制約事項・注意事項等	<p>① 本 FB は、エラーを復帰する処理は含んでいません。エラー復帰処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。</p> <p>② CC-Link IE Field Network パラメータ設定のリフレッシュデバイスの設定を 1.4 項に従って行ってください。</p> <p>③ グローバルラベルの設定を 1.5 項の内容に従って行ってください。</p> <p>④ 割込みプログラム内で FB を使用することはできません。</p> <p>⑤ 本 FB を複数使用することはできません。</p> <p>⑥ 本 FB ではインデックスレジスタ Z5～Z9 を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、当インデックスレジスタおよび当データレジスタを使用しないでください。</p> <p>⑦ ID タグ間のコピーの交信指定、およびオート系コマンド待ち時間設定は、本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)で指定してください。</p> <p>⑧ i_bEN(実行命令)ON 中は、以下の値を変更しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ i_wStartIONo(先頭 I/O No.) ・ i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番) ・ i_wCH(チャンネル番号) ・ i_wSrcAddress(コピー元先頭アドレス指定) ・ i_wCopyByte(処理点数指定) ・ i_wDesAddress(コピー先頭アドレス指定) <p>⑨ FB 内部でインデックス修飾を用いて Y 信号を操作しているため、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。</p> <p>⑩ CC-Link IE Field Network システム用 FB は 1 枚のマスタ・ローカルユニットしか制御できません。2 枚以上のマスタ・ローカルユニットを FB で制御する場合には項「付録 1 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用する方法」をご参照ください。</p> <p>⑪ 本 FB の処理が完了しない場合、i_wStartIONo(先頭 I/O No.)が間違っていないか、または i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)はネットワークの局番と一致しているか、または本 FB を実行する前に P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet(イニシャルデータ設定)が完了しているか確認ください。</p>
FB 動作	パルス型(複数スキャン実行型)

項目	内容
入出力信号の動き	<div> 【正常終了の場合】 </div> <div> 【異常終了の場合】 </div>
	【ユニットエラーの場合】
関連マニュアル	ECLEF-V680D2 ユーザーズマニュアル(詳細編) (50CM-D180188) MELSEC iQ-R Ethernet/CC-Link IE ユーザーズマニュアル (スタートアップ編) (SH-081252) MELSEC iQ-R CC-Link IE フィールドネットワークユーザーズマニュアル (応用編) (SH-081255)

エラーコード

■エラーコード一覧

エラーコード	内容	処置方法
11(10 進数)	i_wStationNo(CC-Link IE Field Network 局番)の指定が範囲外です。	CC-Link IE Field Network 局番は 1～120 を指定してください。
12(10 進数)	i_wCH(チャンネル番号)の指定が範囲外であるか無効な値です。	チャンネル番号は、1 または 2 を指定してください。
14(10 進数)	ECLEF-V680D2 が ID 命令実行中です。	ID 命令実行が終了してから FB を起動してください。

使用ラベル

■入カラベル

名称	変数名	データ型	有効範囲	説明
実行命令	i_bEN	ビット	—	ON:FB を起動する。 OFF:FB を起動しない。
先頭 I/O No.	i_wStartIONo	ワード	対象の CPU ユニットの 入出力点数範囲によります。 詳細範囲は、対象 CPU のユーザズマ ニュアルを参照してく ださい。	対象の CC-Link IE Field Network システム マスタ・ローカルユニットが装着されている先 頭 I/O No.を 16 進数で指定します。(例えば 先頭 I/O No.が 00A0 の場合、H0A0 を指定し てください)
CC-Link IE Field Network 局番	i_wStationNo	ワード	1～120(10 進数)	接続する ECLEF-V680D2 の局番を指定しま す。
チャンネル番号	i_wCH	ワード	1, 2	コピー元のチャンネル番号を指定します。
コピー元先頭アドレ ス指定	i_wSrcAddress	ワード	0000～FFFF (16 進数)	コピー元の ID タグの先頭アドレスを指定しま す。
処理点数指定	i_wCopyByte	ワード	0001～0800 (16 進数)	コピーを行うバイト数を指定します。
コピー先先頭アドレ ス指定	i_wDesAddress	ワード	0000～FFFF (16 進数)	コピー先の ID タグの先頭アドレスを指定しま す。



■出力ラベル

名称	変数名	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON:FB 実行中。 OFF:FB 未実行。
完了フラグ	o_bOK	ビット	OFF	ON:FB 正常完了。 OFF:FB 未完了。
異常完了フラグ	o_bErr	ビット	OFF	ON:FB 異常完了。 OFF:FB 未完了。
エラーコード	o_wErrID	ワード	0	FB 内で発生したエラーコードを格納します。
ユニットエラー	o_bModuleErr	ワード [符号なし]	OFF	ON:RFID インタフェースユニットでエラー発生。 OFF:正常。
ユニットエラーコード	o_uModuleErr	ワード	0	RFID インタフェースユニットで発生したエラー詳細を格納します。

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2015/12/01	新規作成

お願い

本章は FB の機能について記載しております。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載しておりません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。

付録1. 2 枚以上のマスタ・ローカルユニットで FB を使用方法

CC-Link IE Field Network マスタ・ローカルユニットを 2 枚以上使用し、2 枚目以降の CC-Link IE Field Network マスタ・ローカルユニットで FB を使用する場合、以下の手順にて MELSOFT Library の CC-Link IE Field Network マスタ・ローカルユニット用 FB から 2 枚目以降用の FB を作成する必要があります。

2 枚目以降用の FB の作成には 4 つの作業が必要で、概要を以下に列挙します。

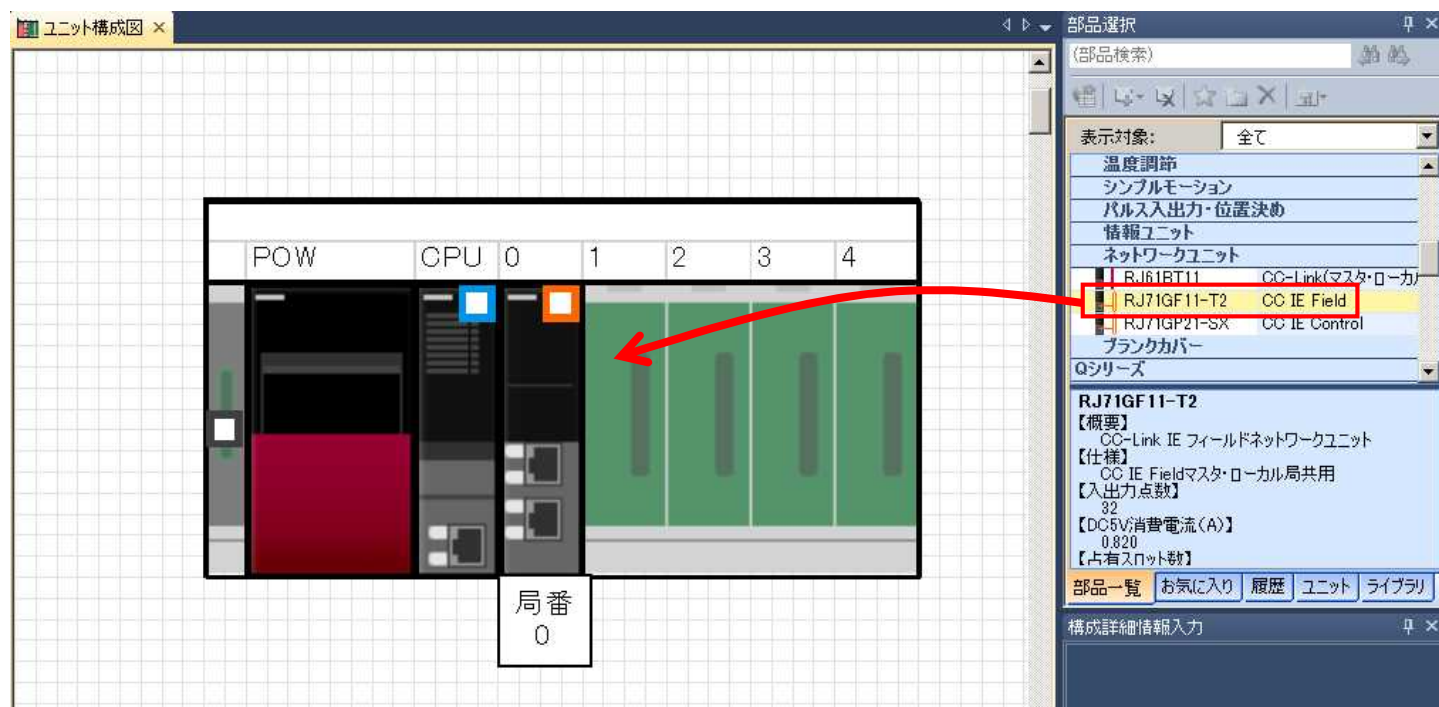
- 1)ネットワークパラメータの入力
- 2)グローバルラベルの設定
- 3)2 枚目用 FB を作成するための MELSOFT Library をコピー
- 4)2 枚目用 FB を作成するためのデバイス置換

付録1.1 ネットワークパラメータの設定

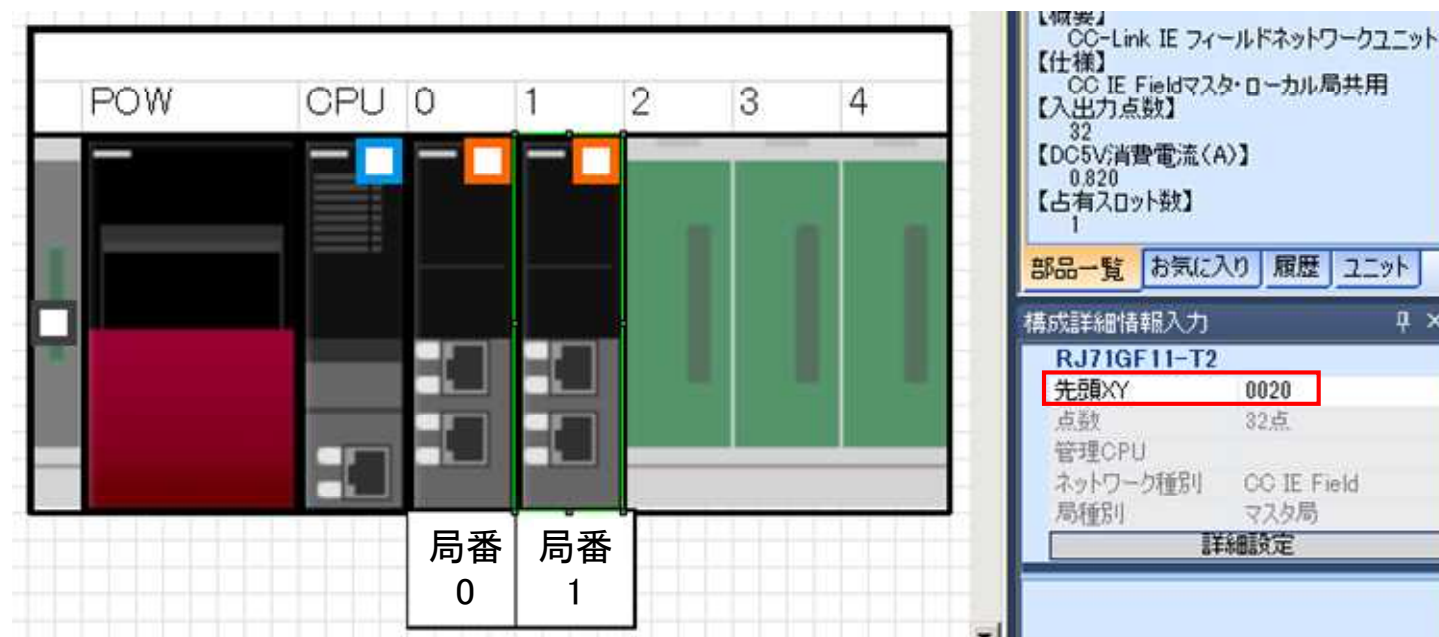
2 枚目で使用するネットワークパラメータを設定します。

① ユニット構成の設定

ユニット構成図から, CC-Link IE Field Network マスタ・ローカルユニットを追加します。



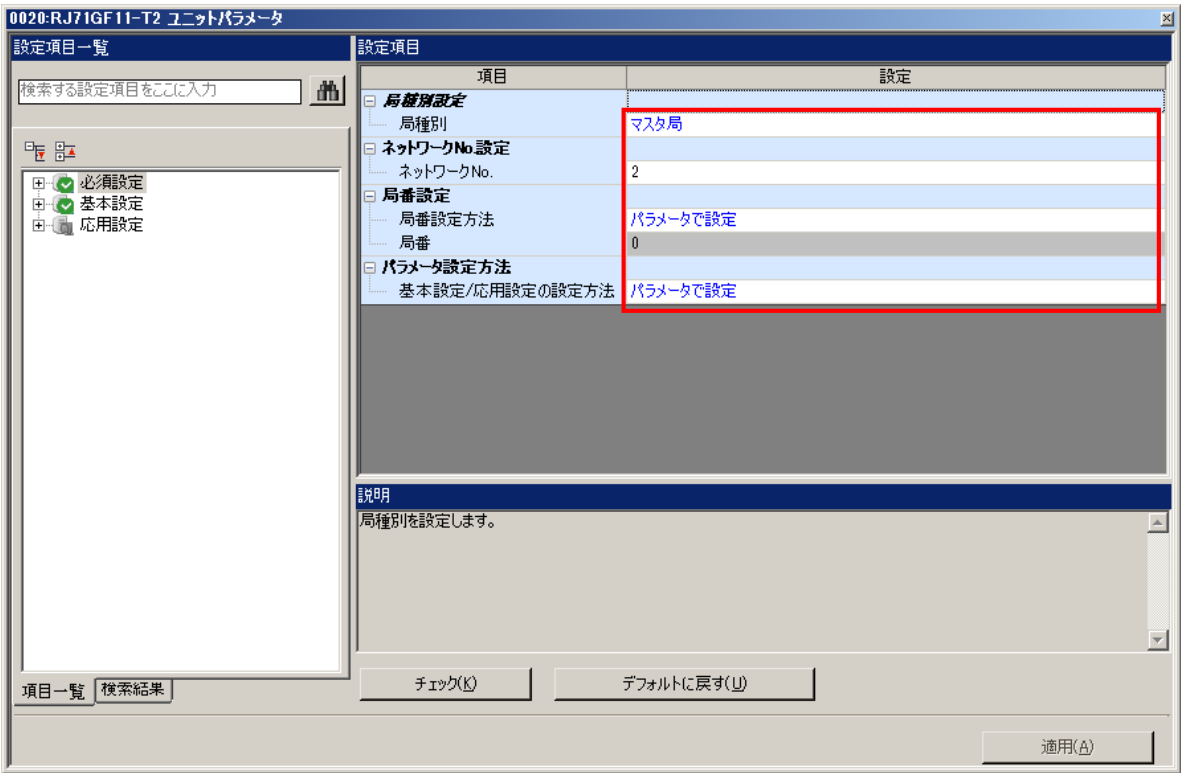
2 枚目のマスタ・ローカルユニットの先頭 XY アドレスを, 「0020」に設定します。



②ユニットパラメータの設定

2 枚目のマスタ・ローカルユニットのユニットパラメータを、以下のように設定します。

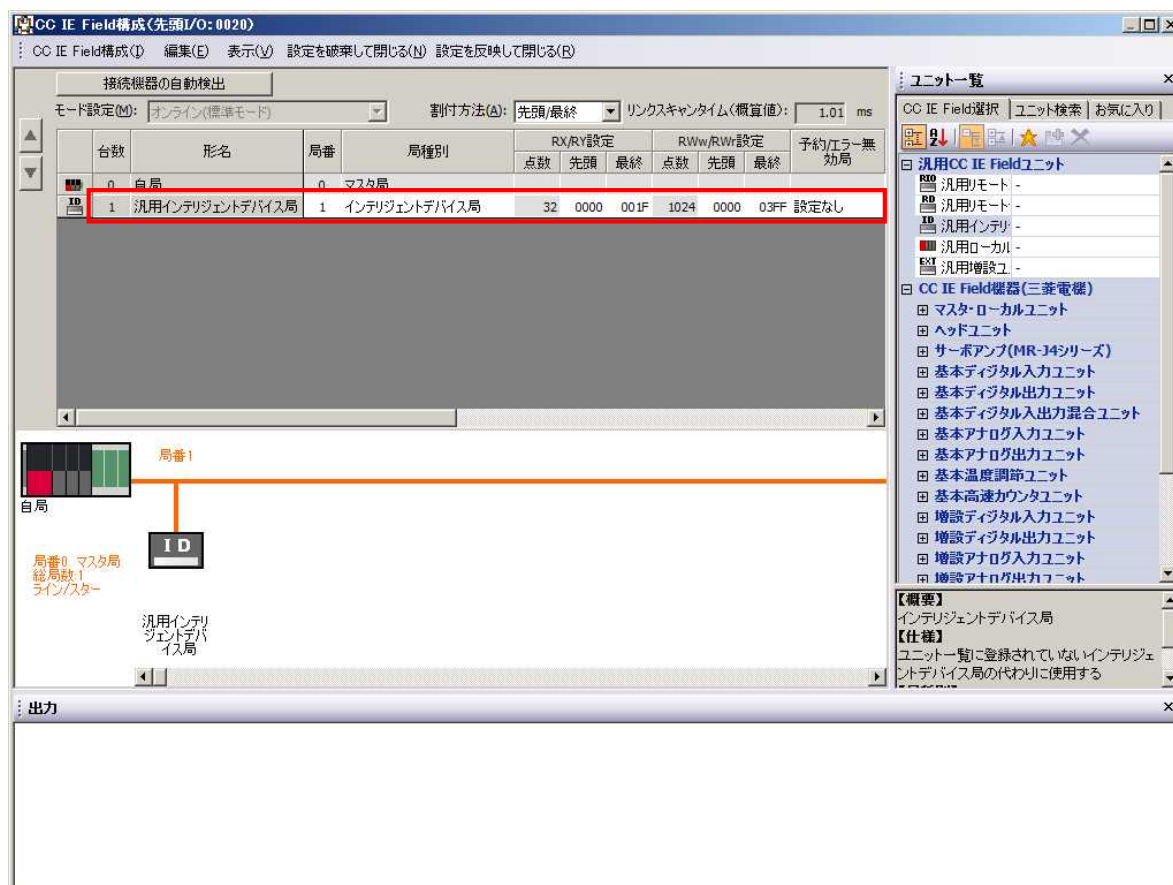
項目	内容
局種別	「マスタ局」を設定します。
ネットワーク No.	2
局番設定方法	「パラメータで設定」を設定します。
基本設定/応用設定の 設定方法	「パラメータで設定」を設定します。



③ ネットワーク構成設定

2 枚目のマスタ・ローカルユニットのネットワーク構成設定を、以下のように設定します。

項目	内容
局種別	「インテリジェントデバイス局」を設定します。
RX/RV 設定	先頭: 0000 最終: 001F
RWw/RW _r 設定	先頭: 0000 最終: 03FF



④ リンクリフレッシュ設定

2 枚目のマスタ・ローカルユニットのリンクリフレッシュ設定を、以下のように設定します。

項目	内容	
	リンク側	CPU 側
特殊リレー(SB) リフレッシュデバイス	デバイス名: SB 先頭: 00000 最終: 001FF	リフレッシュ先: 指定デバイス デバイス名: SB 先頭: 00200
特殊レジスタ(SW) リフレッシュデバイス	デバイス名: SW 先頭: 00000 最終: 001FF	リフレッシュ先: 指定デバイス デバイス名: SW 先頭: 00200
リモート入力(RX) リフレッシュデバイス	デバイス名: RX 先頭: 00000 最終: 007FF	リフレッシュ先: 指定デバイス デバイス名: X 先頭: 01800
リモート出力(RY) リフレッシュデバイス	デバイス名: RY 先頭: 00000 最終: 007FF	リフレッシュ先: 指定デバイス デバイス名: Y 先頭: 01800
リモートレジスタ(RW _r) リフレッシュデバイス	デバイス名: RW _r 先頭: 00000 最終: 004FF	リフレッシュ先: 指定デバイス デバイス名: W 先頭: 00B00
リモートレジスタ(RW _w) リフレッシュデバイス	デバイス名: RW _w 先頭: 00000 最終: 004FF	リフレッシュ先: 指定デバイス デバイス名: W 先頭: 01000

iQ-R シリーズシーケンサのリンクリフレッシュ設定

0020-RJ71GF11-T2 ユニットパラメータ

設定項目一覧

設定項目

No.	リンク側					CPU側			
	デバイス名	点数	先頭	最終		リフレッシュ先	デバイス名	点数	先頭
-	SB	512	00000	001FF	指定デバイス	SB	512	00200	003FF
-	SW	512	00000	001FF	指定デバイス	SW	512	00200	003FF
1	RX	2048	00000	007FF	指定デバイス	X	2048	01800	01FFF
2	RY	2048	00000	007FF	指定デバイス	Y	2048	01800	01FFF
3	RW _r	1280	00000	004FF	指定デバイス	W	1280	00B00	00FFF
4	RW _w	1280	00000	004FF	指定デバイス	W	1280	01000	014FF
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									

説明

リフレッシュ対象とするCPUデバイスを設定します。
 (設定範囲)
 ・SB: M, L, B, D, R, ZR, RD, SB
 ・SW: M, L, B, D, R, ZR, RD, SW
 ・RX: X, M, L, B, D, W, R, ZR, RD
 ・RY: Y, M, L, B, D, W, R, ZR, RD
 ・RW_r/RW_w: M, L, B, D, W, R, ZR, RD

項目一覧 検索結果

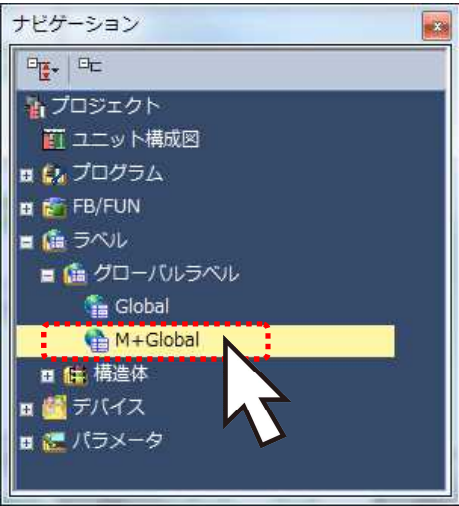
チェック(K) デフォルトに戻す(U)

適用(A)

付録1 . 2 グローバルラベルの設定

2 枚目で使用するグローバルラベルを入力します。
1 枚目で使用するラベル名と 2 枚目で使用するラベル名が同一にならないように定義します。
以下では 2 枚目のグローバルラベルの設定を説明します。

(1)ナビゲーションウィンドウのプロジェクトタブにある「グローバルラベル」の「M+Global」を選択します。



(2)G_RX2 リモート入力(RX)の設定を行います。

項目	内容
ラベル名	「G_RX2」を入力します。
データ型	「ビット」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
割付(デバイス/ラベル)	付録 1.1 にて入力したリモート入力(RX)に「Z9」を付加して入力します。 「X1800Z9」を入力します。

(3)G_RY2 リモート出力(RY)の設定を行います。

項目	内容
ラベル名	「G_RY2」を入力します。
データ型	「ビット」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
割付(デバイス/ラベル)	付録 1.1 にて入力したリモート出力(RY)に「Z9」を付加して入力します。 「Y1800Z9」を入力します。

(4)G_RWr2 リモートレジスタ(RWr)の設定を行います。

項目	内容
ラベル名	「G_RWr2」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
割付(デバイス/ラベル)	付録 1.1 にて入力したリモートレジスタ(RWr)に「Z8」を付加して入力します。 「W0B00Z8」を入力します。

(5)G_RWw2 リモートレジスタ(RWw)の設定を行います。

項目	内容
ラベル名	「G_RWw2」を入力します。
データ型	「ワード[符号付き]」を選択します。
クラス	「VAR_GLOBAL」を選択します。
割付(デバイス/ラベル)	付録 1.1 にて入力したリモートレジスタ(RWw)に「Z8」を付加して入力します。 「W1000Z8」を入力します。

リンクリフレッシュ設定

0020-RJ71GF11-T2 ユニットパラメータ

設定項目一覧

設定項目

No.	リンク側				リフレッシュ先	CPU側			
	デバイス名	点数	先頭	最終		指定デバイス	デバイス名	点数	先頭
-	SB	512	00000	001FF	指定デバイス	SB	512	00200	003FF
-	SW	512	00000	001FF	指定デバイス	SW	512	00200	003FF
1	RX	2048	00000	007FF	指定デバイス	X	2048	01800	01FFF
2	RY	2048	00000	007FF	指定デバイス	Y	2048	01800	01FFF
3	RWw	1280	00000	004FF	指定デバイス	W	1280	00B00	00FFF
4	RWw	1280	00000	004FF	指定デバイス	W	1280	01000	014FF
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									

説明

リフレッシュ対象とするCPUデバイスを設定します。

設定範囲

- SB: M, L, B, D, R, ZR, RD, SB
- SW: M, L, B, D, R, ZR, RD, SW
- RX: X, M, L, B, D, W, R, ZR, RD
- RY: Y, M, L, B, D, W, R, ZR, RD
- RWw/RWw: M, L, B, D, W, R, ZR, RD

項目一覧 検索結果

チェック(K) デフォルトに戻す(U)

適用(A)

グローバルラベル設定

M+Global [グローバルラベル設定]

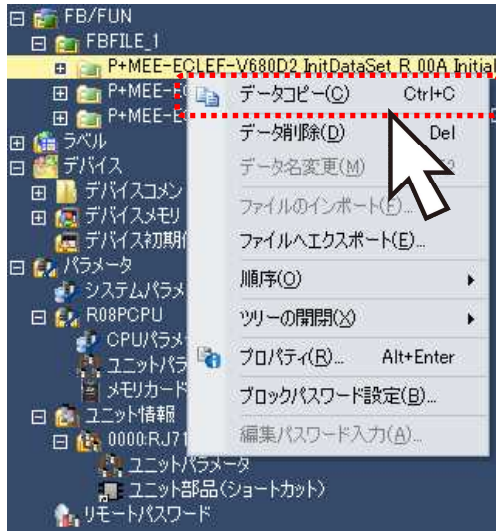
<フィルタ> 簡易表示(Y) 表示設定(S) チェック(K) 警告)本ファイルは、システムファイルです。編集しないでください

	ラベル名	データ型	クラス	割付け(デバイス/ラベル)	初期値	定数	コメント	外部機器からのアクセス
1	RCPU	M+RCPU	VAR_GLOBAL					
2	GF11_1	M+RJ71GF11	VAR_GLOBAL					
3	G_RX	ビット	VAR_GLOBAL	X1000Z9			リモート入力参照用設定	
4	G_RY	ビット	VAR_GLOBAL	Y1000Z9			リモート出力更新用設定	
5	G_RWw	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W1000Z8			リモートレジスタ参照用設	
6	G_RWw	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W800Z8			リモートレジスタ更新用設	
7	G_RX2	ビット	VAR_GLOBAL	X1800Z9			リモート入力参照用設定	
8	G_RY2	ビット	VAR_GLOBAL	Y1800Z9			リモート出力更新用設定	
9	G_RWw2	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W0B00Z8			リモートレジスタ参照用設	
10	G_RWw2	ワード[符号付き]	VAR_GLOBAL	W1000Z8			リモートレジスタ更新用設	

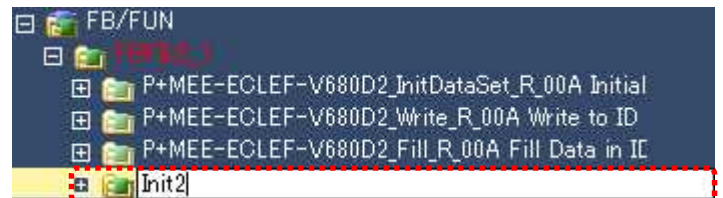
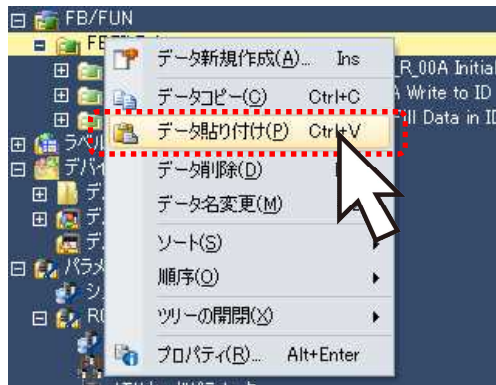
拡張 自動

付録1 . 3 2 枚目用 FB を作成するための MELSOFT Library をコピー

(1)ナビゲーションウインドウのプロジェクトタブにある、2 枚目用に必要な FB を選択して、データコピーします。

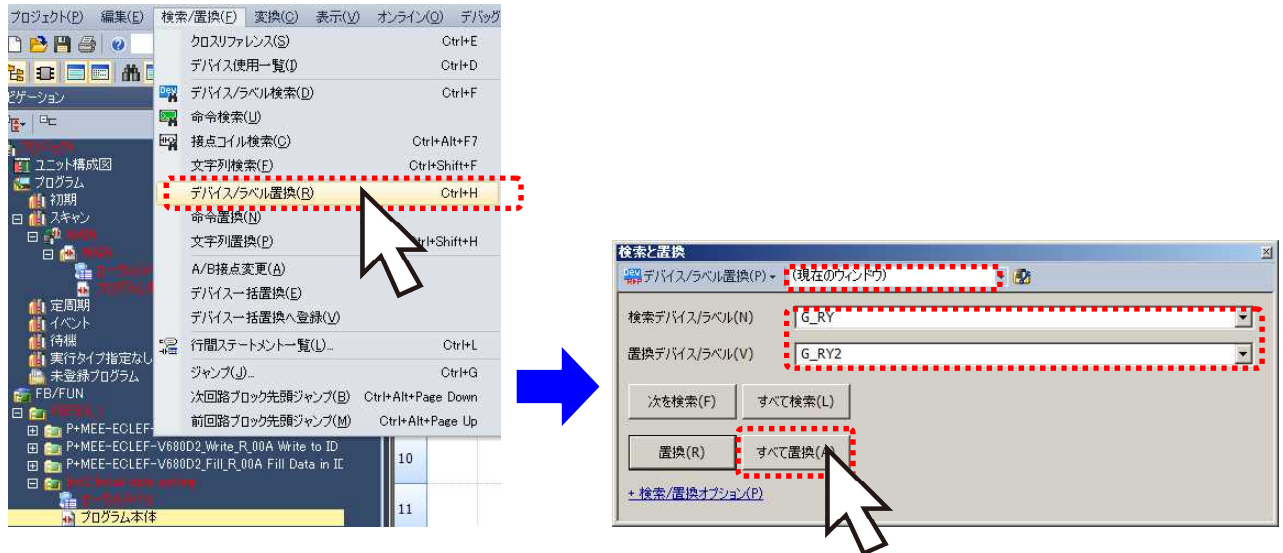


(2)ナビゲーションウインドウのプロジェクトタブにある、【FB・FUN 管理】に、先にコピーした FB をデータ貼り付けします。貼り付けた FB にカーソルを合わせ[F2]を押し、貼り付け後の FB 名称を入力します。(例:Init2)



付録1 . 4 2 枚目用 FB を作成するためのデバイス置換

(3) コピーした FB の G_RX, G_RY, G_RWr と G_RWw をデバイス一括置換します。ナビゲーションウィンドウから追加した FB の「プログラム本体」を開き、メニューの「検索/置換(E)」を選択→「デバイス/ラベル置換(R)」を選択し、「デバイス/ラベル置換」画面を表示します。検索場所を「(現在のウィンドウ)」検索デバイスを「G_RX」置換デバイスを「G_RX2」に指定し、デバイス一括置換します。また、「G_RY」「G_RWr」「G_RWw」も同様に「G_RY2」「G_RWr2」「G_RWw2」にデバイス一括置換してください。



以上で 2 枚目の CC-Link IE Field Network マスタ・ローカル用 FB の使用が可能になります。

【ポイント】

- ① 2 枚目の CC-Link IE Field Network マスタ・ローカルユニットで使用する FB が複数ある場合には (2)と(3)の手順を繰り返してください。
- ② 3 枚以上の CC-Link IE Field Network マスタ・ローカルユニットで FB を使用する場合には、設定する「グローバルラベル名」・FB のデータ貼り付けする際の「貼り付け後データ名」、デバイスを置換する際の「置換デバイス」を 1 枚目、2 枚目と重複しないよう設定してください。

【注意事項】

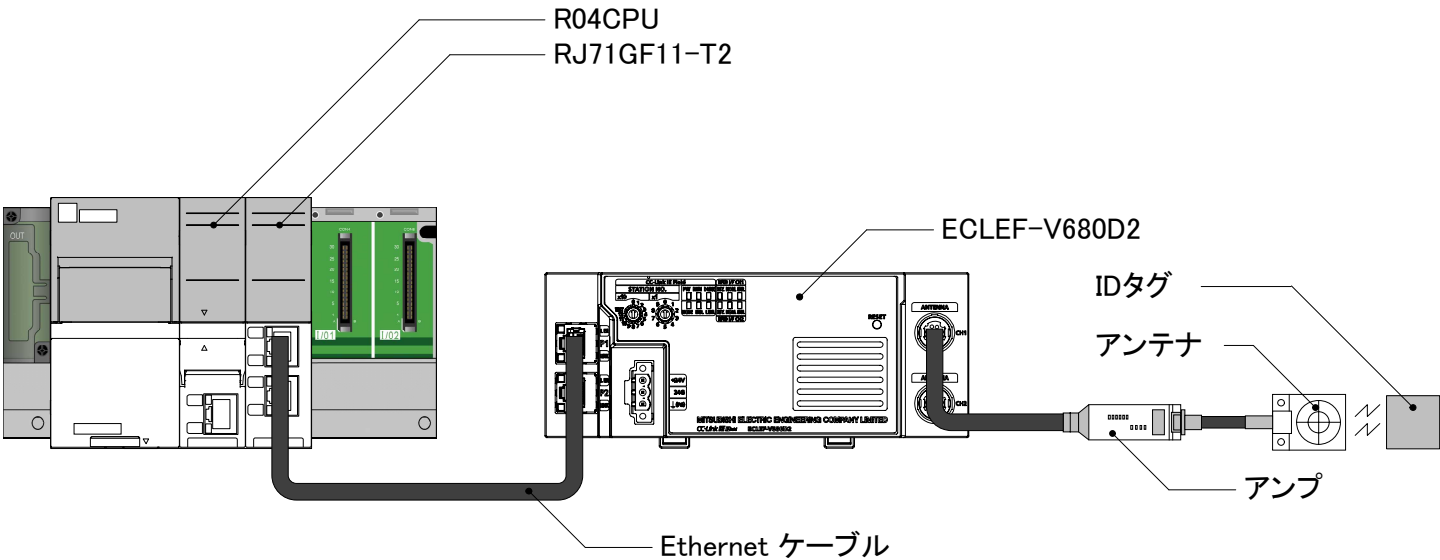
MELSOFT Library のバージョンアップがあったとき、MELSOFT Library の FB は再度、インポートを行うことでバージョンアップを行うことができますが、今回の手順で作成した 2 枚目以降用 FB は再度インポートを行っても、バージョンアップを行うことができません。

そのため、今回の手順で作成した FB をバージョンアップする場合には、MELSOFT Library のバージョンアップ後、再度、この作業を行うことで、バージョンアップを行います。

付録2. FB ライブラリ使用例

CC-Link IE Field Network システムを利用して、ID タグヘデータ書込みする場合の使用例です。

(1)システム構成



(2)デバイス使用一覧

■外部入力(指令)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M1000	P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet_R	イニシャルデータ設定指令
M1002		イニシャルデータ設定指令保持
M1010	P+MEE-ECLEF-V680D2_Read_R	ID タグのリード指令
M1011		ID タグのリード結果受信
M1012		ID タグのリード指令保持
M1020	P+MEE-ECLEF-V680D2_Write_R	ID タグのライト指令
M1021		ID タグのライト結果受信
M1022		ID タグのライト指令保持
M1030	P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill_R	ID タグのデータフィル指令
M1031		ID タグのデータフィル結果受信
M1032		ID タグのデータフィル指令保持
M1040	P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead_R	ID タグの UID リード指令
M1041		ID タグの UID リード結果受信
M1042		ID タグの UID リード指令保持
M1050	P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureNoise_R	ノイズ測定指令
M1051		ノイズ測定指令保持
M1060	P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead_R	イニシャルデータリード指令
M1061		イニシャルデータリード指令保持
M1070	P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead_R	ユニット状態読出し指令
M1071		ユニット状態読出し指令保持



デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
M1080	P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy_R	ID タグ間のコピー指令
M1081		ID タグ間のコピー指令保持
M1200	P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet_R P+MEE-ECLEF-V680D2_Read_R P+MEE-ECLEF-V680D2_Write_R P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill_R P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead_R P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureNoise_R P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead_R P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead_R P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy_R	インターロック用接点 (2 個以上の FB が同時に実行されないようにします。)

■外部入力(データ)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D2300～ D2301	P+MEE-ECLEF-V680D2_Write_R	ID タグに書込むデータを格納したデバイスの間接指定用デバイス
D2302～ D2305	P+MEE-ECLEF-V680D2_Write_R	ID タグに書込むデータを指定します。(最大 61 ワード)

■外部出力(確認)

デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D1000	P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet_R	イニシャルデータ設定時、FB エラーコード格納
D1001		イニシャルデータ設定時、ユニットエラーコード格納
M1003		イニシャルデータ設定時、FB 実行中
M1004		イニシャルデータ設定時、FB 正常完了
M1005		イニシャルデータ設定時、FB 異常完了
M1006		イニシャルデータ設定時、ユニットエラー
D1010	P+MEE-ECLEF-V680D2_Read_R	ID タグのリード時、FB エラーコード格納
D1011		ID タグのリード時、ユニットエラーコード格納
D1200～ D1201		読出したデータを格納するデバイスの間接指定用デバイス
D1202～ D1205		ID タグから読出したデータを格納します。(最大 61 ワード)
M1013		ID タグのリード時、FB 実行中
M1014		ID タグのリード時、FB 正常完了
M1015		ID タグのリード時、FB 異常完了
M1016		ID タグのリード時、ユニットエラー
M1017		ID タグのリード時、ID 送信完了
D1020	P+MEE-ECLEF-V680D2_Write_R	ID タグのライト時、FB エラーコード格納
D1021		ID タグのライト時、ユニットエラーコード格納
M1023		ID タグのライト時、FB 実行中
M1024		ID タグのライト時、FB 正常完了
M1025		ID タグのライト時、FB 異常完了
M1026		ID タグのライト時、ユニットエラー
M1027		ID タグのライト時、ID 送信完了



デバイス	FB 名称	用途(ON 時の内容)
D1030	P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill_R	ID タグのデータフィル時、FB エラーコード格納
D1031		ID タグのデータフィル時、ユニットエラーコード格納
M1033		ID タグのデータフィル時、FB 実行中
M1034		ID タグのデータフィル時、FB 正常完了
M1035		ID タグのデータフィル時、FB 異常完了
M1036		ID タグのデータフィル時、ユニットエラー
M1037		ID タグのデータフィル時、ID 送信完了
D1040	P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead_R	ID タグの UID リード時、FB エラーコード格納
D1041		ID タグの UID リード時、ユニットエラーコード格納
D1042～ D1043		ID タグ UID を格納するデバイスの間接指定用デバイス
D1044～ D1047		ID タグの UID リード時、ID タグ UID 格納 (4 ワード)
M1043		ID タグの UID リード時、FB 実行中
M1044		ID タグの UID リード時、FB 正常完了
M1045		ID タグの UID リード時、FB 異常完了
M1046		ID タグの UID リード時、ユニットエラー
M1047		ID タグの UID リード時、ID 送信完了
D1050	P+MEE-ECLEF-V680D2_MeasureNoise_R	ノイズ測定時、FB エラーコード格納
D1051		ノイズ測定時、ユニットエラーコード格納
D1052～ D1053		ノイズ測定結果を格納するデバイスの間接指定用デバイス
D1054～ D1056		ノイズ測定時、測定結果格納 (3 ワード)
M1052		ノイズ測定時、FB 実行中
M1053		ノイズ測定時、FB 正常完了
M1054		ノイズ測定時、FB 異常完了
M1055		ノイズ測定時、ユニットエラー
D1060	P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead_R	イニシャルデータリード時、FB エラーコード格納
D1061		イニシャルデータリード時、送信指定格納
D1062		イニシャルデータリード時、送信設定格納
D1063		イニシャルデータリード時、処理指定格納
D1064		イニシャルデータリード時、オート系コマンド待ち時間設定格納
M1062		イニシャルデータリード時、FB 実行中
M1063		イニシャルデータリード時、FB 正常完了
M1064		イニシャルデータリード時、FB 異常完了
D1070	P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead_R	ユニット状態読出し時、FB エラーコード格納
D1071		ユニット状態読出し時、CH1 のユニット状態格納
D1072		ユニット状態読出し時、CH2 のユニット状態格納
M1072		ユニット状態読出し時、FB 実行中
M1073		ユニット状態読出し時、FB 正常完了
M1074		ユニット状態読出し時、FB 異常完了
D1080	P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy_R	ID タグ間のデータコピー時、FB エラーコード格納
D1081		ID タグ間のデータコピー時、ユニットエラーコード格納
M1082		ID タグ間のデータコピー時、FB 実行中
M1083		ID タグ間のデータコピー時、FB 正常完了
M1084		ID タグ間のデータコピー時、FB 異常完了
M1085		ID タグ間のデータコピー時、ユニットエラー



(4)使用例 設定

■共通設定

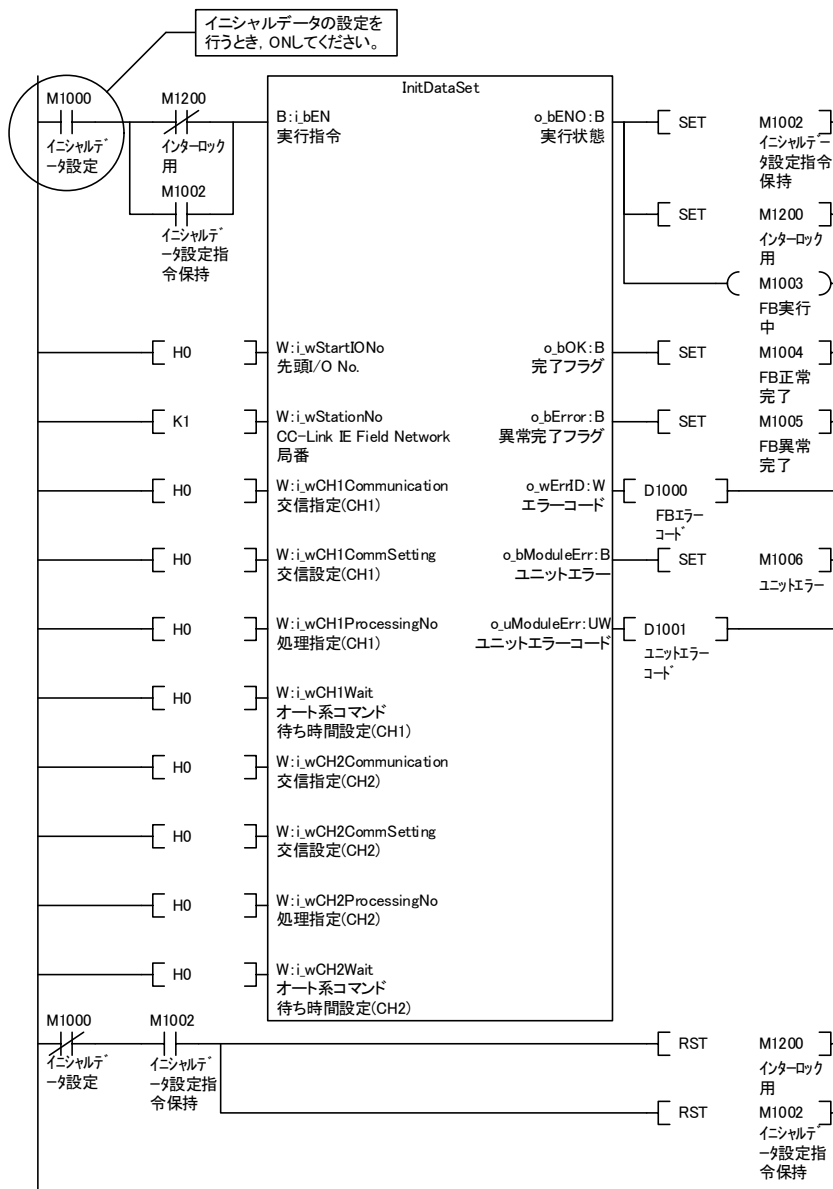
入出力項目	値	説明
先頭 I/O No.	H0	通信を行う CC-Link IE Field Network システムマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭 I/O No.を指定します。
CC-Link IE Field Network 局番	K1	接続する RFID システムの局番を入力します。
オート系コマンド待ち時間設定	K0	本使用例では、i_wCommunication(交信指定)が 2(リポートオート)の場合に、ID タグの検出待ち時間を 0.1 秒単位で指定します。本使用例では、ID タグからの応答があるまで処理を継続します。

(5) プログラム

(a) P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataSet_R (イニシャルデータ設定)

次の条件でイニシャルデータの設定を行います。

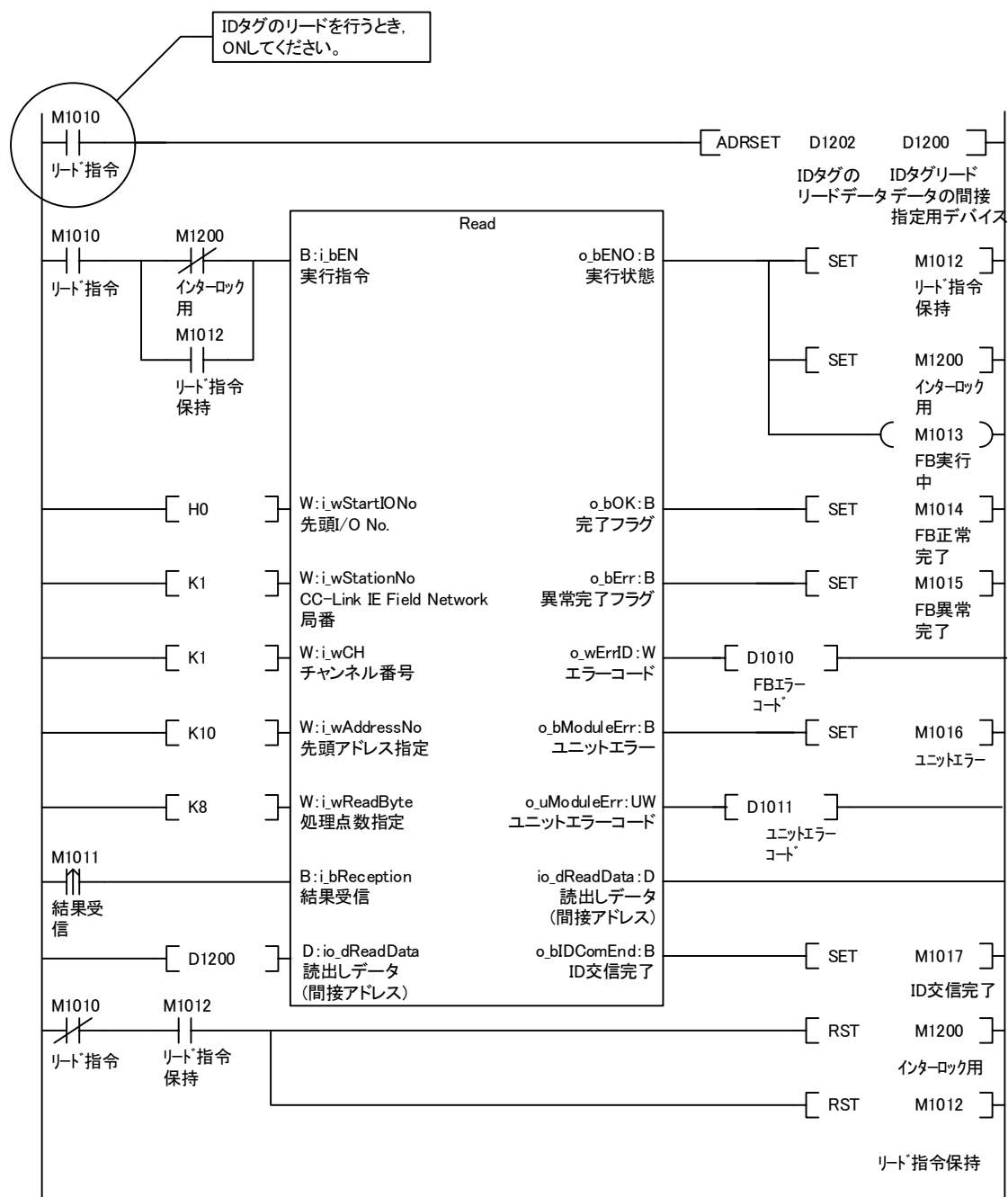
- ・先頭 I/O No.0
- ・CC-Link IE Field Network 局番1
- ・通信指定0 (トリガ)
- ・通信設定0 (ライトベリファイ設定 : 実行する
ID タグ 通信速度設定 : 標準モード
ライトプロテクト設定 : 有効
リード/ライトデータコード設定: ASCII/HEX 変換なし)
- ・処理指定0
- ・オート系コマンド待ち時間設定0 (ID タグから応答があるまで検出待ちをします。)



(b) P+MEE-ECLEF-V680D2_Read_R (ID タグのリード)

次の条件で ID タグのリードを行います。

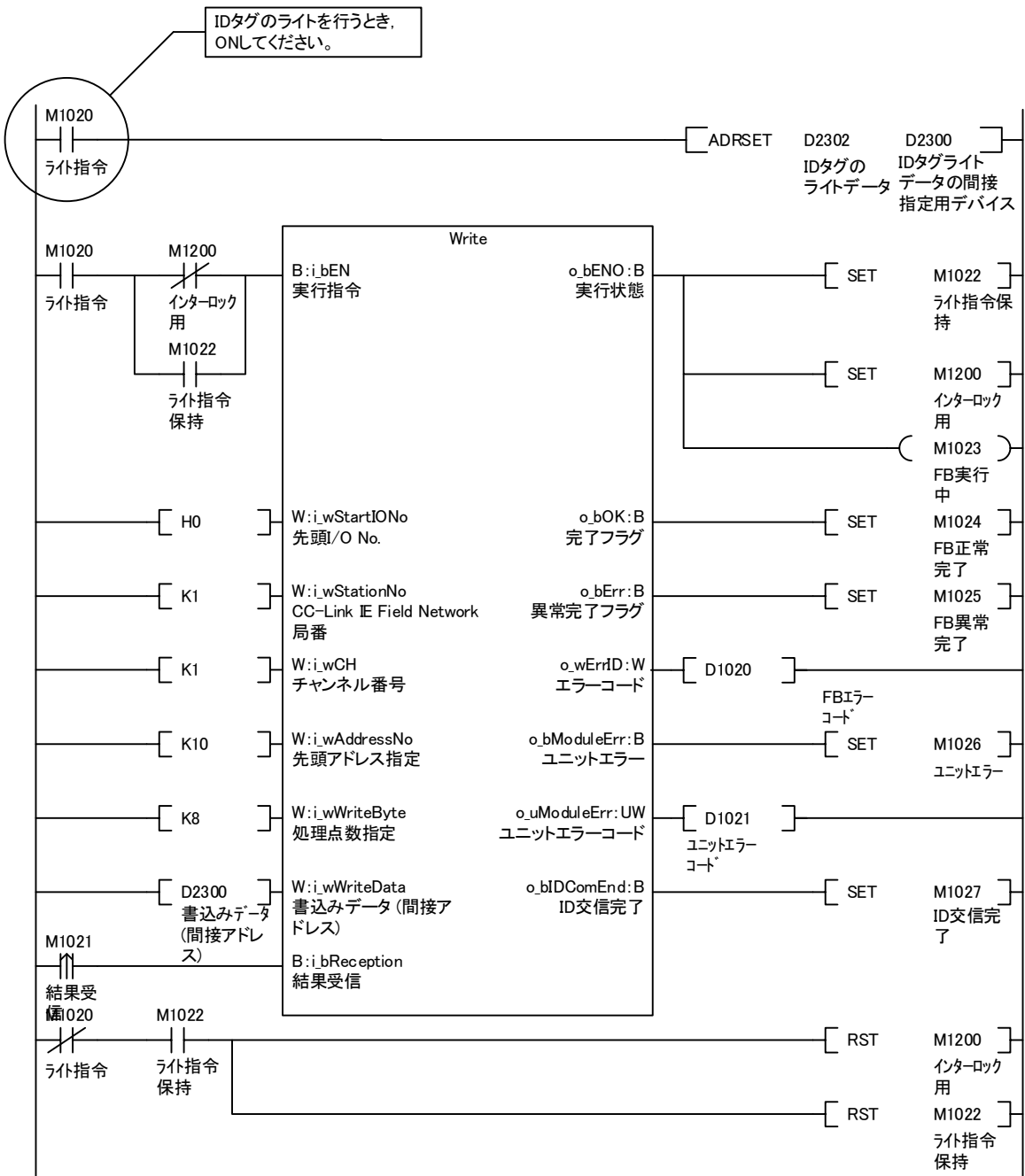
- 先頭 I/O No.0
- CC-Link IE Field Network 局番1
- チャンネル番号1
- 先頭アドレス指定10
- 処理点数指定8 (8 バイト)
- 読み込みデータD1202~D1205



(c) P+MEE-ECLEF-V680D2_Write_R (ID タグのライト)

次の条件で ID タグのライトを行います。

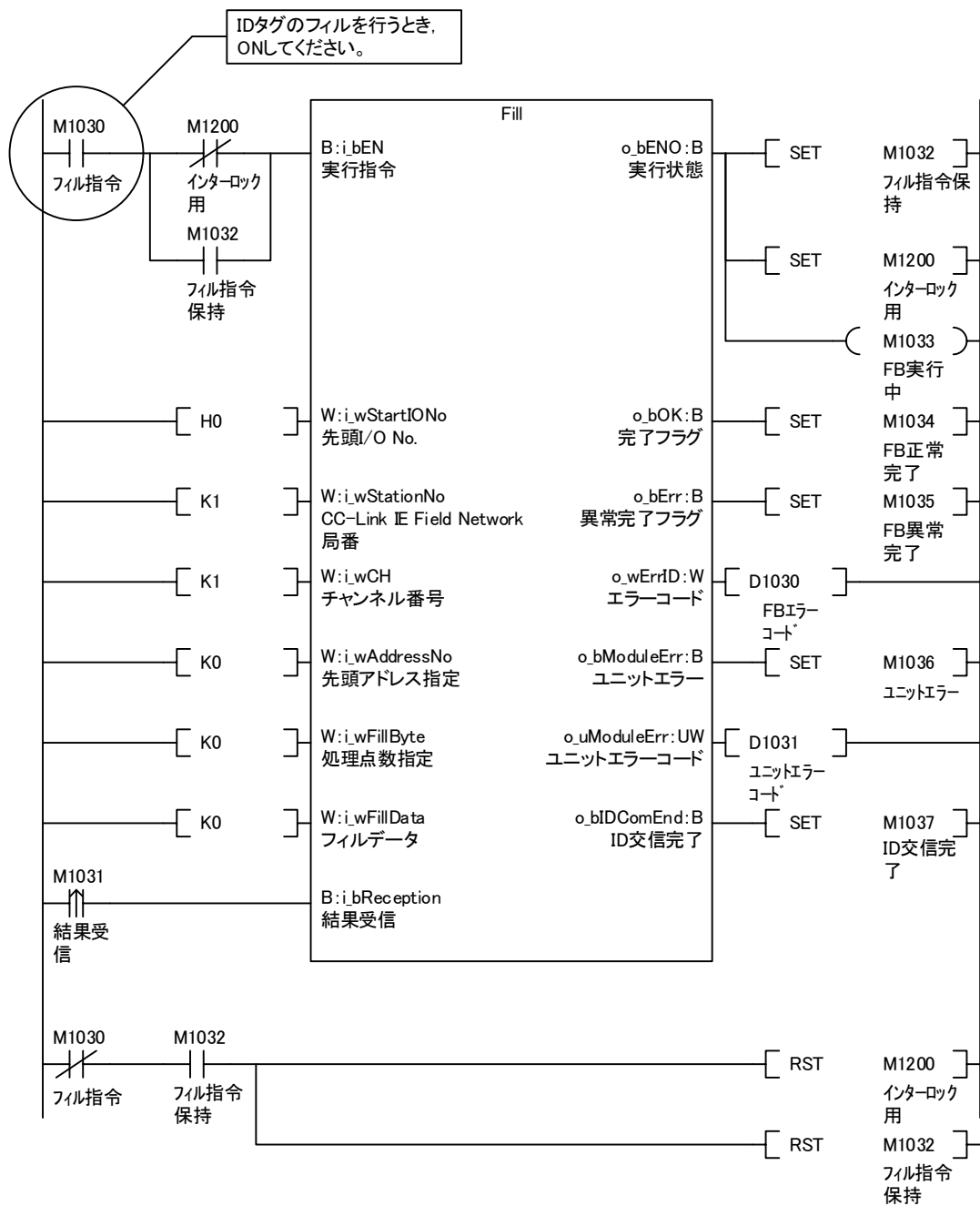
- 先頭 I/O No.0
- CC-Link IE Field Network 局番1
- チャンネル番号1
- 先頭アドレス指定10
- 処理点数指定8 (8 バイト)
- 書き込みデータD2302~D2305



(d) P+MEE-ECLEF-V680D2_Fill_R (ID タグのデータフィル)

次の条件で ID タグのデータフィルを行います。

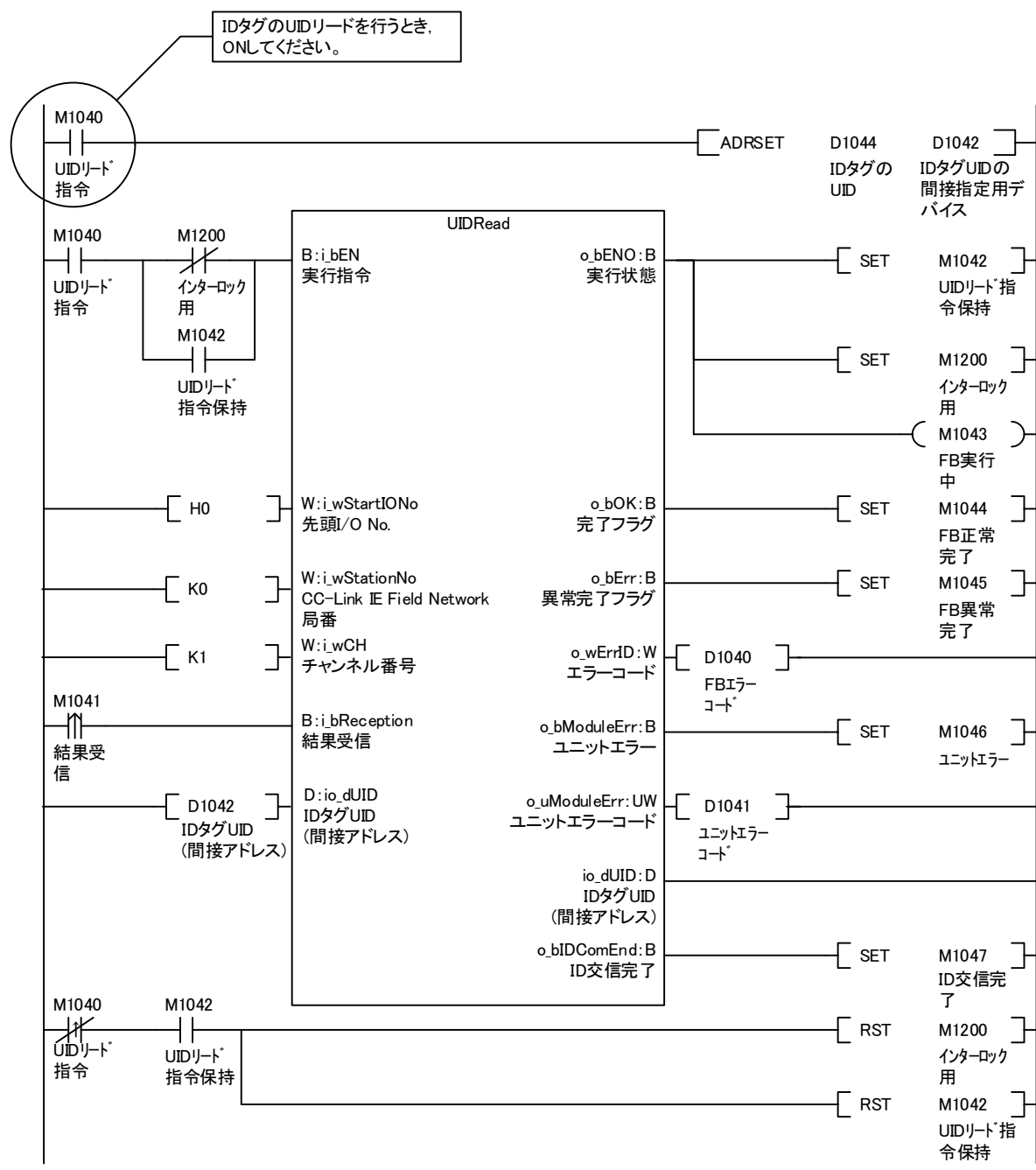
- ・先頭 I/O No.0
- ・CC-Link IE Field Network 局番1
- ・チャンネル番号1
- ・先頭アドレス指定0
- ・処理点数指定0 (全データ指定)
- ・フィルデータ0



(e) P+MEE-ECLEF-V680D2_UIDRead_R (ID タグの UID リード)

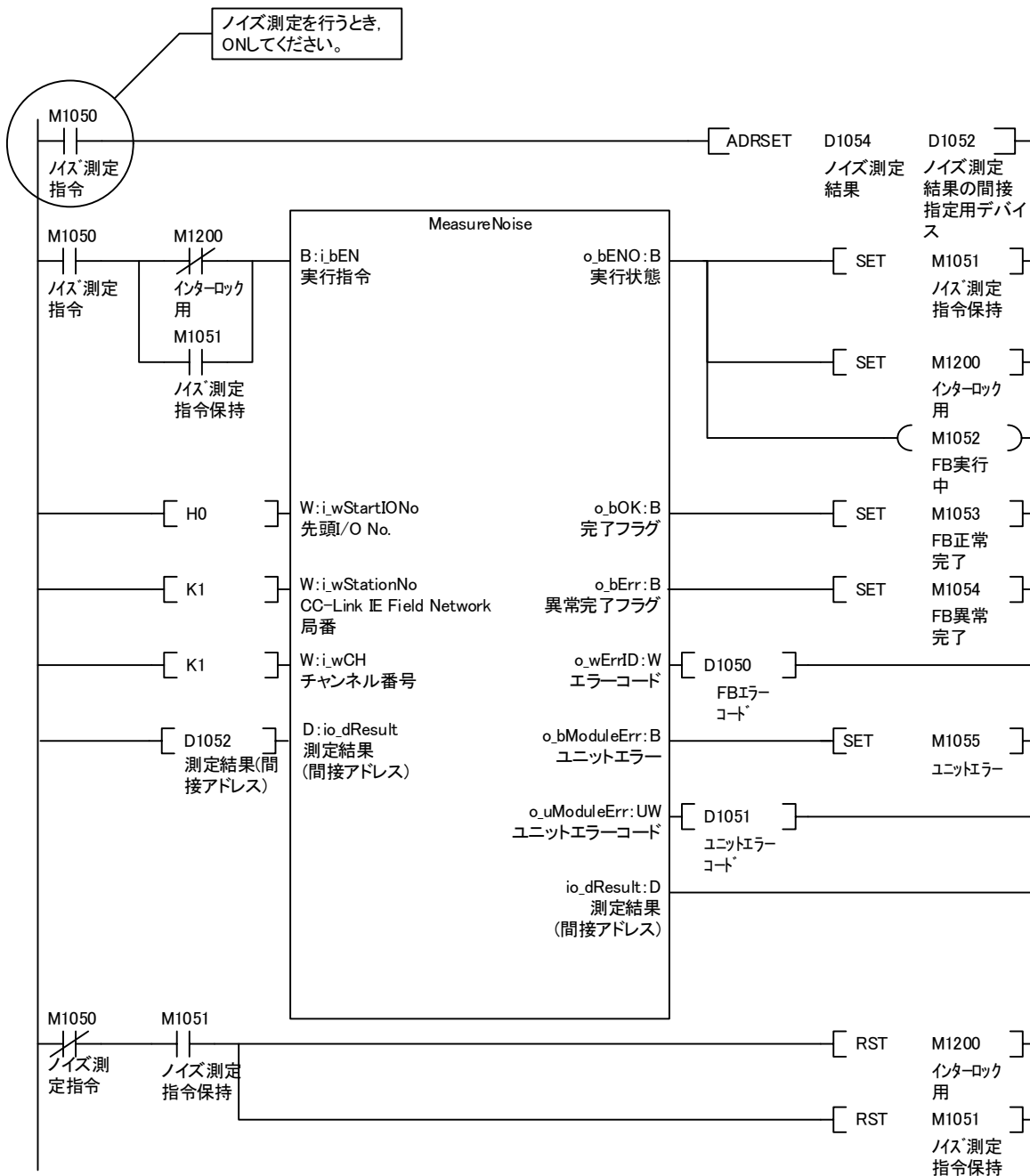
次の条件で ID タグの UID リードを行います。

- 先頭 I/O No.0
- CC-Link IE Field Network 局番1
- チャンネル番号1
- UID 格納先D1044~D1047



次の条件でノイズ測定を行います。

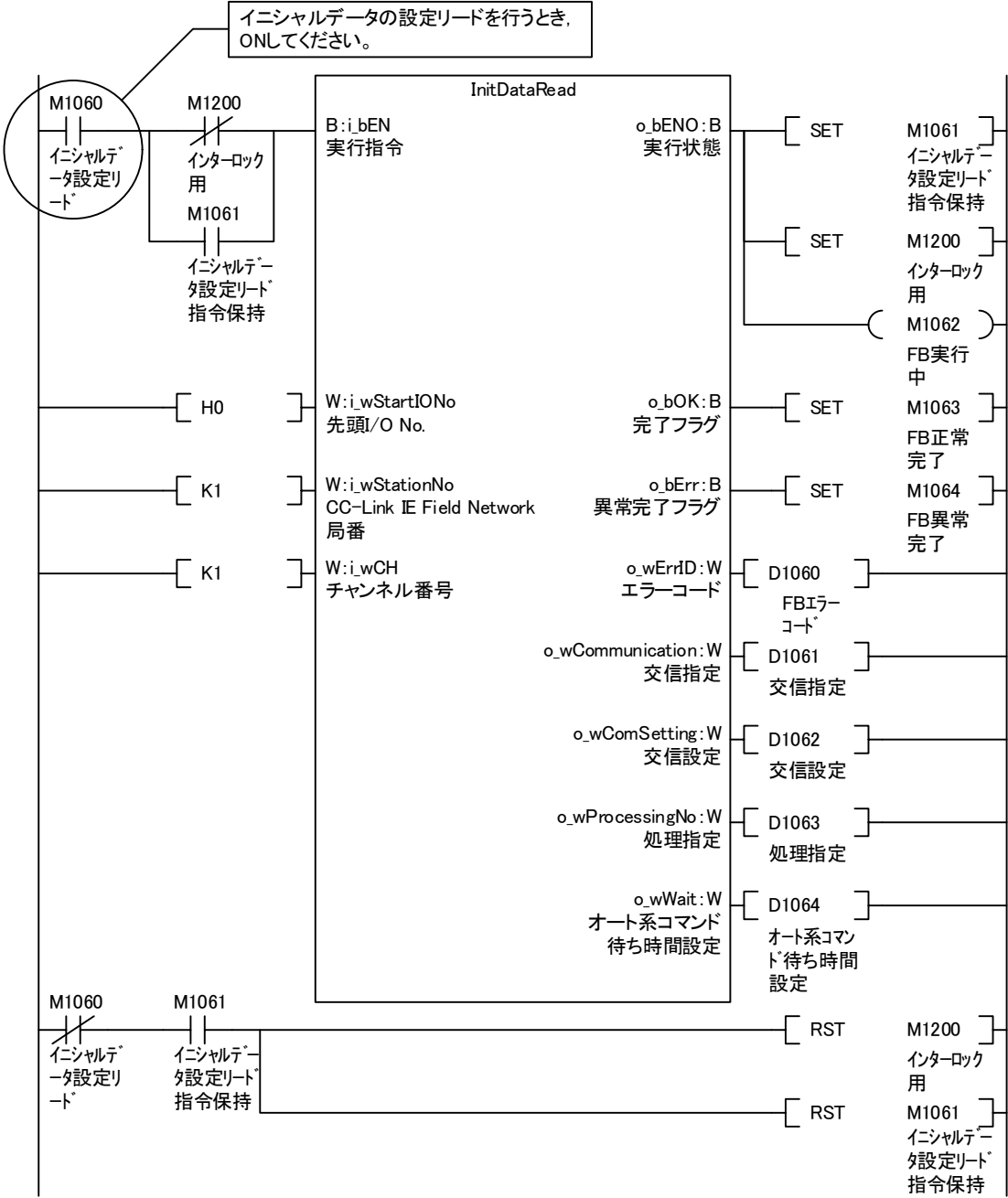
- | | |
|------------------------------------|-------------|
| ・先頭 I/O No. | 0 |
| ・CC-Link IE Field Network 局番 | 1 |
| ・チャンネル番号 | 1 |
| ・ノイズ測定結果 | D1054～D1056 |



(g) P+MEE-ECLEF-V680D2_InitDataRead_R (イニシャルデータリード)

次の条件でイニシャルデータを読み出します。

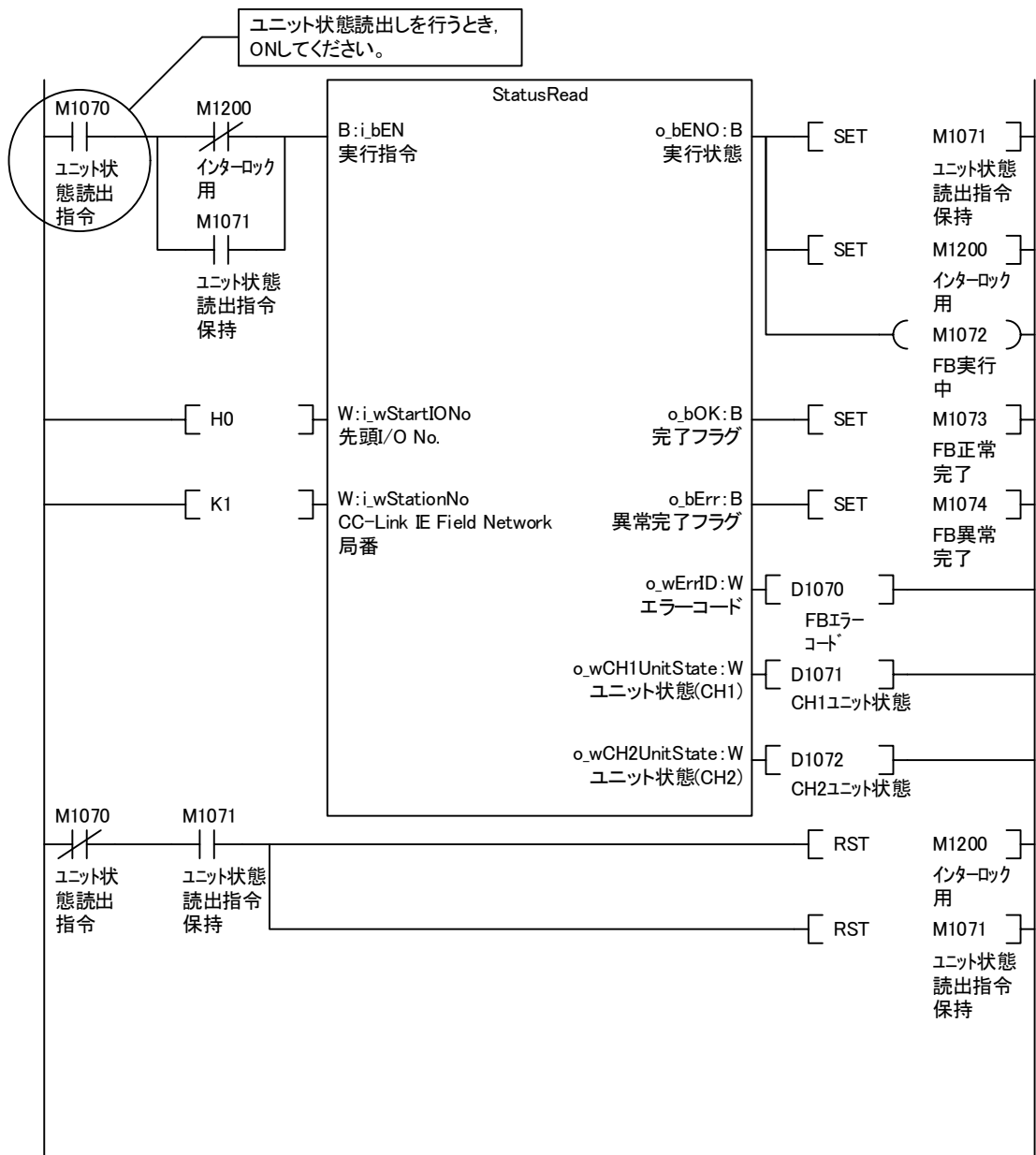
- 先頭 I/O No.0
- CC-Link IE Field Network 局番1
- チャンネル番号1



(g) P+MEE-ECLEF-V680D2_StatusRead_R (ユニット状態読出し)

次の条件でユニット状態を読出します。

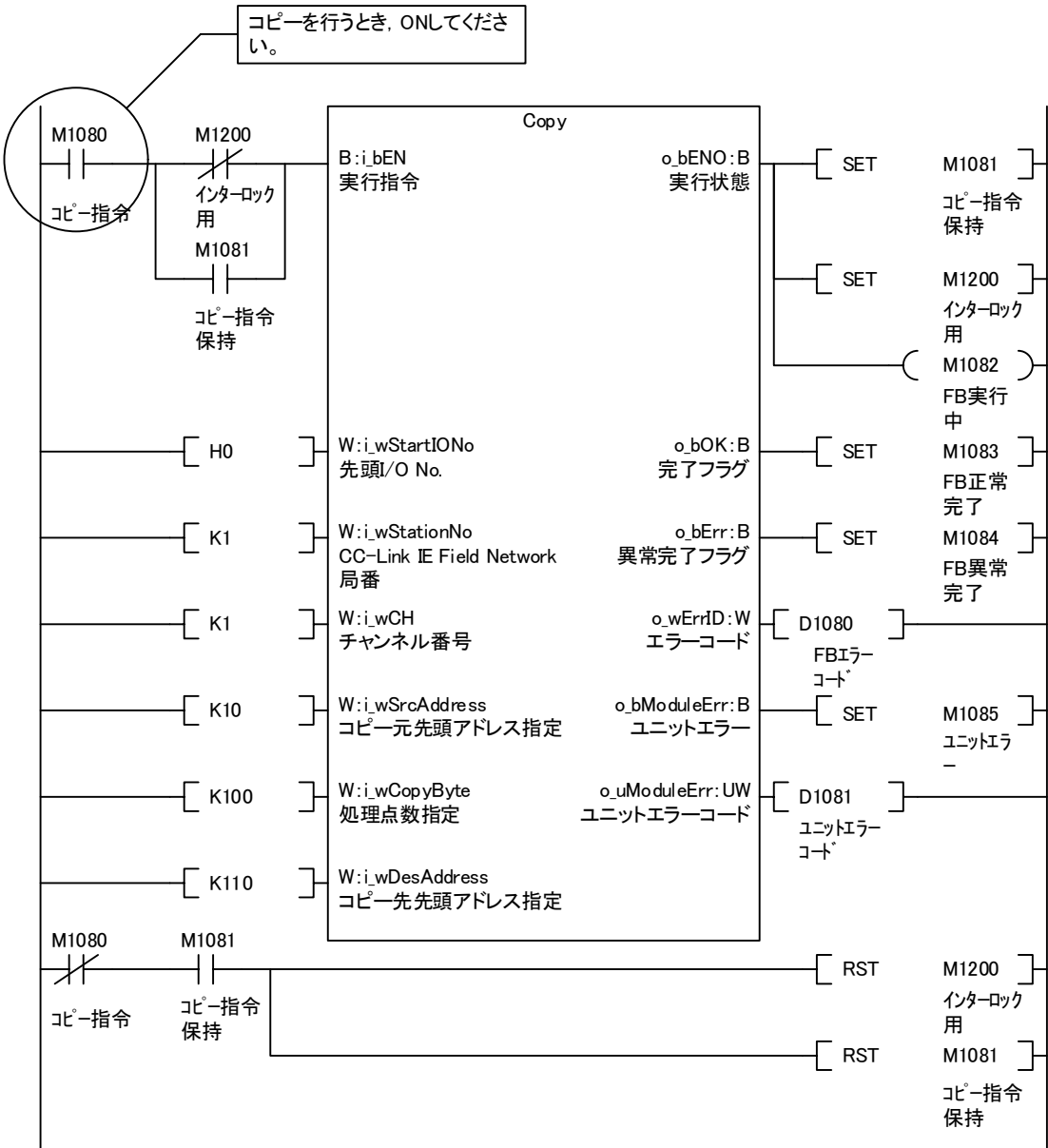
- 先頭 I/O No.0
- CC-Link IE Field Network 局番1
- チャンネル番号1



(h) P+MEE-ECLEF-V680D2_Copy_R (ID タグ間のコピー)

次の条件で ID タグ間のコピーを行います。

- ・先頭 I/O No.0
- ・CC-Link IE Field Network 局番1
- ・チャンネル番号1
- ・コピー元先頭アドレス指定10
- ・処理点数指定100 (100 バイト)
- ・コピー先先頭アドレス指定110





営業統括部

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-5(ヒューリック九段ビル)
TEL(03)3288-1103 FAX(03)3288-1575

東日本営業支社(関東甲信越以北担当)

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-5(ヒューリック九段ビル)
TEL(03)3288-1743 FAX(03)3288-1575

中日本営業支社(中部・北陸地区担当)

〒450-0002 名古屋市中村区名駅2-45-7(松岡ビルディング10F)
TEL(052)565-3435 FAX(052)541-2558

西日本営業支社(近畿地区担当)

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2(近鉄堂島ビル 7F)
TEL(06)6347-2926 FAX(06)6347-2983

中四国支店(中国・四国地区担当)

〒730-0037 広島市中区中町7-32(ニッセイ広島ビル)
TEL(082)248-5390 FAX(082)248-5391

九州支店(九州地区担当)

〒810-0001 福岡市中央区天神1-12-14(紙与渡辺ビル)
TEL(092)721-2202 FAX(092)721-2109

オペレーションに関するお問い合わせは

名古屋事業所 技術サポートセンター

TEL.0568-36-2068 FAX.0568-36-2045

受付／9:00～17:00 月曜～金曜

(土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始の休日を除く通常業務日)